

**令和3年度  
福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の  
点検・評価報告書**

**令和4年12月**

**福井市教育委員会**

## 目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価方法等	2
3	令和3年度 福井市教育委員会の活動状況	3
4	令和3年度 各種審議会等審議状況	9
5	令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況	18
6	学識経験者の知見	65

## 1 はじめに

本報告書「令和3年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」(以下、「点検・評価報告書」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和3年度の福井市教育振興基本計画の成果報告とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価方法等

### (1) 対象期間

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)

### (2) 点検・評価方法

点検・評価報告書案の作成

・教育委員会において点検・評価報告書案を作成

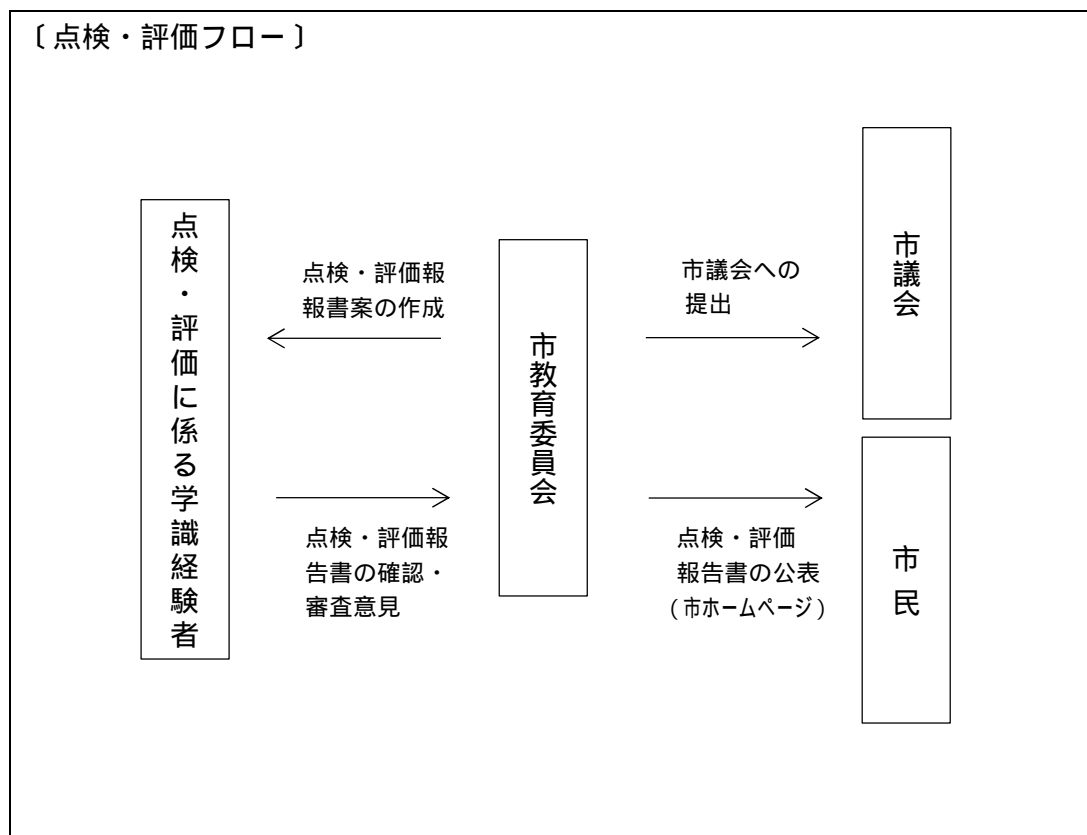
点検・評価報告書の確認・審査意見

・学識経験者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査  
市議会への提出

・点検・評価報告書を市議会に提出

点検・評価報告書の公表

・点検・評価報告書を市のホームページにおいて公表



### 3 令和3年度 福井市教育委員会の活動状況

#### (1) 福井市教育委員会委員の構成 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

職名	氏名	任期	職業等
教育長	吉川 雄二	令和2年6月27日～ 令和5年6月26日	元教員
教育長職務代理者	春木 伸一	令和2年12月22日～ 令和6年12月21日	医師
委員	木村 敦子	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日	看護師 (保護者)
委員	多田 和博	平成29年12月24日～ 令和7年12月23日	会社役員
委員	宮郷 美千代	令和元年12月18日～ 令和5年12月17日	団体職員 (保護者)

#### (2) 教育委員会の開催状況

委員会	開催日	請願件数	議案件数	報告件数
令和3年4月定例会	4月23日	0	2	5
5月定例会	5月25日	0	2	2
6月定例会	6月30日	0	7	0
7月定例会	7月30日	0	5	0
8月定例会	8月19日	0	2	0
9月定例会	9月29日	0	3	0
10月定例会	10月27日	0	0	0
11月定例会	11月24日	0	2	0
12月定例会	12月24日	0	2	0
令和4年1月定例会	1月31日	0	2	0
2月定例会	2月16日	0	3	0
3月定例会	3月25日	0	3	0
計		0	33	7

( 3 ) 教育委員会審議案件

開催日	内 容	
令和 3 年 4 月 23 日 ( 定例 )	第 1 号議案 第 2 号議案 第 1 号報告 第 2 号報告 第 3 号報告 第 4 号報告 第 5 号報告	福井市社会教育功労者表彰について ( P T A 分 ) 市指定文化財の指定解除について 専決処分 ( 福井市教育委員会行政組織規則の一部改正 ) の承認を求めることについて 専決処分 ( 福井市教育委員会職務権限規程の一部改正 ) の承認を求めることについて 専決処分 ( 福井市教育委員会文書管理規程の一部改正 ) の承認を求めることについて 専決処分 ( 福井市結核対策委員会委員の委嘱 ) の承認を求めることについて 専決処分 ( 福井市社会教育指導員の委嘱 ) の承認を求めることについて
令和 3 年 5 月 25 日 ( 定例 )	第 3 号議案 第 4 号議案 第 6 号報告 第 7 号報告	市議会定例会提出議案 ( 令和 3 年度福井市一般会計補正予算 ) に同意することについて 市議会定例会提出議案 ( 財産の取得について ) に同意することについて 専決処分 ( 福井市学校体育施設開放運営委員会委員及び福井市学校体育施設開放管理員の委嘱 ) の承認を求めることについて 専決処分 ( 福井市通学区域審議会委員の委嘱 ) の承認を求めることについて
令和 3 年 6 月 30 日 ( 定例 )	第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 第 8 号議案 第 9 号議案 第 10 号議案 第 11 号議案	福井市学校給食運営委員会委員の委嘱について 福井市公民館管理運営に関する規則の一部改正について 福井市社会教育委員の委嘱について 福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について 福井市自然史博物館運営協議会委員の委嘱について 福井市美術館運営協議会委員の委嘱について 福井市郷土歴史博物館運営協議会委員の委嘱について
令和 3 年 7 月 30 日 ( 定例 )	第 12 号議案 第 13 号議案 第 14 号議案 第 15 号議案 第 16 号議案	福井市通学区域審議会委員の委嘱について 福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 福井市文化的景観保存活用委員の委嘱について 福井市清水郷土資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について 福井市図書館協議会委員の委嘱について
令和 3 年 8 月 19 日 ( 定例 )	第 17 号議案 第 18 号議案	令和 4 年度使用小中学校教科用図書の採択について 市議会定例会提出議案 ( 令和 3 年度福井市一般会計補正予算 ) に同意することについて

令和3年 9月29日 (定例)	第19号議案 第20号議案 第21号議案	福井市立学校体育施設の開放に関する規則の一部改正について 福井市社会教育功労者表彰について 市指定文化財の指定解除について
令和3年 10月27日 (定例)	審議案件なし	
令和3年 11月24日 (定例)	第22号議案 第23号議案	市議会定例会提出議案(令和3年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて 市議会定例会提出議案(事業契約の締結)に同意することについて
令和3年 12月24日 (定例)	第24号議案 第25号議案	殿下地区の小中学校再編に伴う中学校進学先の経過措置について 福井市社会教育委員の会議等に関する規則の一部改正について
令和4年 1月31日 (定例)	第26号議案 第27号議案	市議会定例会提出議案(福井市児童館条例の一部改正)に同意することについて 福井市学校教育方針(令和4年度~令和8年度)について
令和4年 2月16日 (定例)	第28号議案 第29号議案 第30号議案	市議会定例会提出議案(令和3年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて 市議会定例会提出議案(令和4年度福井市一般会計予算)に同意することについて 第3期福井市教育振興基本計画の策定について
令和4年 3月25日 (定例)	第31号議案 第32号議案 第33号議案	福井市立学校管理規則の一部改正について 福井市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について 福井市スポーツ推進委員の委嘱について

( 4 ) 教育委員の活動状況

令和3年	教育委員会事務局辞令交付式	吉川教育長
4月 1日	社会教育指導員委嘱状交付式	吉川教育長
4月 6日	公民館館長委嘱状交付式	吉川教育長
4月 11日	橋本左内先生生誕祭	吉川教育長
4月 20日	東海北陸都市教育長協議会 第1回役員会	吉川教育長
4月 23日	4月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
4月 27日	第1回市町教育長会議	吉川教育長
5月 25日	5月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
6月 3日	第2回市町教育長会議	吉川教育長
6月 23日	不死鳥のねがい推進協議会総会	吉川教育長
6月 30日	6月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
7月 9日	中核市教育長会 第1回総会	吉川教育長
7月 26日	第1回 社会教育委員の会議	吉川教育長
7月 28日	第3回市町教育長会議	吉川教育長
7月 30日	7月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
8月 19日	8月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
9月 1日	第4回市町教育長会議	吉川教育長
9月 29日	9月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
10月 1日	社会教育指導員委嘱状交付式	吉川教育長
10月 2日	福井県幼・小・中PTA活動地区別研修会 (オンライン開催)	吉川教育長
10月 14日	福井県青年館来訪	吉川教育長
10月 20日	社会教育功労者表彰式	吉川教育長、春木委員、木村委員 宮郷委員
10月 27日	10月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
10月 27日	学校訪問(円山小学校)	木村委員



11月 2日	第1回福井市総合教育会議	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
11月 3日	和田地区祭り	吉川教育長
11月 10日	学校訪問（和田小学校）	木村委員
11月 15日	第5回市町教育長会議	吉川教育長
11月 16日	学校訪問（鷹巣小中学校）	宮郷委員
11月 17日	学校訪問（殿下小中学校）	木村委員
11月 17日	学校訪問（成和中学校）	木村委員
11月 18日	東海北陸都市教育長協議会 第2回役員会	吉川教育長
11月 18日	学校訪問（森田小学校）	木村委員、宮郷委員
11月 18日	学校訪問（春山小学校）	春木委員
11月 24日	11月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
11月 24日	学校訪問（啓蒙小学校）	木村委員
11月 25日	学校訪問（大東中学校）	宮郷委員
11月 30日	市公連研究集会・館長主事合同研修会	吉川教育長
12月 1日	学校訪問（清水東小学校）	宮郷委員
12月 2日	ふれあい文化子どもスクール ふれあいコンサート	春木委員、木村委員、多田委員
12月 3日	ふれあい文化子どもスクール ふれあいコンサート	宮郷委員
12月 10日	学校訪問（灯明寺中学校）	宮郷委員
12月 11日	福井市PTA研究大会	吉川教育長
12月 14日	学校訪問（藤島中学校）	春木委員
12月 15日	学校訪問（羽生小学校）	宮郷委員
12月 24日	12月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
12月 24日	第2回福井市総合教育会議	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
令和4年 1月 8日	三世代交流事始め	吉川教育長
1月 9日	成人式	吉川教育長
1月 10日	市連婦 新年のつどい	吉川教育長
1月 19日	社南公民館からの要望書受取	吉川教育長

1月 27日	全国都市教育長協議会 第3回理事会	吉川教育長
1月 28日	中核市教育長会 第2回総会	吉川教育長
1月 31日	1月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
2月 3日	市PTA連合会 市長・教育長と語る会	吉川教育長
2月 9日	第6回市町教育長会議	吉川教育長
2月 16日	2月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
3月 24日	第2回 社会教育委員の会議	吉川教育長
3月 25日	3月定例教育委員会	吉川教育長、春木委員、木村委員 多田委員、宮郷委員
3月 28日	第7回市町教育長会議	吉川教育長

#### 4 令和3年度 各種審議会等審議状況

##### 各種審議会等一覧

審議会等名称	所管所属
(1) 福井市学校不適応対策推進会議	学校教育課
(2) 福井市教育支援委員会	学校教育課
(3) 福井市結核対策委員会	保健給食課
(4) 福井市学校給食運営委員会	保健給食課
(5) 福井市社会教育委員の会議	生涯学習課
(6) 福井市少年愛護センター運営委員会	青少年課
(7) 福井市青少年問題協議会	青少年課
(8) 福井市スポーツ推進審議会	スポーツ課
(9) 福井市文化財保護委員会	文化財保護課
(10) 福井市文化奨励賞選考委員会	文化振興課
(11) 福井市図書館協議会	図書館・みどり図書館・桜木図書館
(12) 福井市自然史博物館運営協議会	自然史博物館
(13) 福井市美術館運営協議会	美術館
(14) 福井市立郷土歴史博物館運営協議会	郷土歴史博物館

##### (1) 福井市学校不適応対策推進会議 (学校教育課)

委員数	12人	会議開催数	3回
年月日	令和3年 8月 24日 令和4年 1月 20日 令和4年 3月 16日	種別	審議
内容	件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井市適応指導教室「チャレンジ教室」の活動全般に対する支援について</li> <li>ライフパートナー事業について</li> </ul>	
	案件概要	(1回目) ・チャレンジ教室の昨年度の状況、今年度の取組について審議した。 ・コロナ禍によるライフパートナー事業の在り方について審議した。 (2回目) ・チャレンジ教室およびライフパートナーの状況、今後の取組について審議した。 (3回目) ・チャレンジ教室およびライフパートナーの今年度の取組とICTを活用した支援について審議した。	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジ教室に通室してくる中学3年生の進学意識が他通室生にも好影響を与えた。</li> <li>親の会や懇談会への参加が少ないので、オープンスクール的な参観や相談を計画できるとよいのではないか。</li> </ul>	

(2) 福井市教育支援委員会（学校教育課）

委員数	37人		会議開催数	11回
年月日	令和3年 4月 20日 令和3年 5月 20日 令和3年 7月 28日 令和3年 7月 30日 令和3年 8月 17日 令和3年 8月 18日 令和3年 9月 29日 令和3年 9月 30日 令和3年 12月 9日 令和4年 2月 17日 令和4年 2月 18日		種別	審議
内容	件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会において、子どもたちの支援の方向性や、のぞましい学びの場として就学先の検討をする。</li> <li>・就学相談会の実施（コロナ感染予防から相談会は中止。園において個別相談を実施。）</li> </ul>		
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市が委嘱した教育支援委員が、園や小中学校において、調査を行う。</li> <li>・本人の教育的ニーズ、障害の状態、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先について情報提供を行う。就学先決定時のみならず、その後の一貫した支援についても助言を行う。</li> </ul>		
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のために相談会を中止したため、やり方は変更したものの、例年通り個別訪問において、保護者に情報提供を行い、子どもたちの実態把握を行うことができた。合意形成を図ることができた。</li> </ul>		

(3) 福井市結核対策委員会（保健給食課）

委員数	7人		会議開催数	1回
年月日	令和3年 6月 23日		種別	審議
内容	件名	(1) 結核検診実施状況について		
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度結核精密検査受診状況の報告</li> <li>・令和3年度結核検診実施状況、精密検査対象者の報告</li> </ul>		
	主な意見	・特になし		
	件名	(2) 結核検診における要検討者について		
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結核の家族歴がある児童生徒7名について、精密検査の要否を検討</li> </ul>		
	結果	・7名全員精密検査は不要。		

(4) 福井市学校給食運営委員会（保健給食課）

委員数	14人	会議開催数	2回
年月日	令和3年7月26日	種別	審議・報告
内容	件名	(1) 学校給食の実施について	
	案件概要	・令和3年度の学校給食の実施、運営体制についての報告	
	主な意見	・給食事故についてデータはあるか、データの提示を求める	
	件名	(2) 社北小学校の調理業務委託について	
	案件概要	・社北小学校調理業務委託の経緯について説明	
	主な意見	・民間委託業者によるレベル維持のため、市の指導をお願いしたい	
その他 主な意見	(1) 新学校給食センターについて		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい給食の追求と安全の担保のため食材の確認等、市の関与も必要</li> <li>・栄養教諭の配置基準について、県へ要請してほしい</li> <li>・事故発生時の対応等のリスク管理に努めてほしい</li> </ul>		
年月日	令和3年11月22日	種別	報告
内容	件名	(1) 福井市新学校給食センター整備運営事業契約の締結について	
	案件概要	・福井市新学校給食センター整備運営事業契約の締結について	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の方向性について、不安な保護者もいるので情報開示してほしい</li> <li>・PFI事業が失敗にならないよう、日常運営体制の管理は事業者任せとせず、市できちんとしてほしい</li> <li>・食育推進支援についても、事業者がきちんと対応できるよう確認してほしい</li> </ul>	

(5) 福井市社会教育委員の会議（生涯学習課）

委員数	16人	会議開催数	2回
年月日	(第1回) 令和3年7月26日 (第2回) 令和4年3月24日	種別	諮問
内容	件名	(第1回) 令和4年度成人式の開催について 第2回は報告事項のみ	
	案件概要	(第1回) 開催時期、開催基準、予備日設定	
	主な意見	(第1回) 次年度以降の開催時期の検討	

(6) 福井市少年愛護センター運営委員会(青少年課)

委員数	15人	会議開催数	1回
年月日	令和3年8月4日	種別	審議
内容	件名	(1) 委員長・副委員長の選任について	
	案件概要	・「福井市少年愛護センター設置条例施行規則第3条第1項」の規定により、委員長及び副委員長を互選によって定める。	
	結果	・委員長に光野稔委員、副委員長に小川晶裕委員を選任	
	件名	(2) 市愛護センターの概要・事業内容について	
	案件概要	・令和2年度事業報告、3年度事業計画(案)、補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の状況について説明	
	結果	・承認	
	件名	(3) 各関係機関・団体の取組について	
	案件概要	情報(意見)交換	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年からのコロナの影響により学校と連携した見守り活動はできていないが、学校との連携を深めていく必要があるため、連携の方法を工夫し行っていきたい。</li> <li>・最近生徒の行動パターンが変化しており、外でたむろしていた時代からネット内でのやりとりをするようになってきている。</li> <li>・学校ではSNS等ネットに関するトラブルが話題となることが多い。自殺サイトや大麻情報なども気になっている。</li> <li>・最近、スマートフォンやインターネットが普及しており、凄く利便性がある一方、いろいろな犯罪に使われるというリスクが増えている。その危険性を十分理解することが必要である。</li> </ul>	

( 7 ) 福井市青少年問題協議会 ( 青少年課 )

委員数	12 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 3 年 8 月 24 日	種 別	協議
内 容	件 名	・ 副会長の選任について	
	案件概要	・ 「福井市青少年問題協議会規則第 3 条第 1 項」の規定により、副会長を互選によって定める。	
	結 果	・ 副会長に安本桂樹委員を選任	
	件 名	・ コロナ禍が子どもの成長に与えた影響について	
	案件概要	・ 事務局の説明 ( パワーポイント ) を受け、コロナ禍での子どもたちの様子、各関係機関・団体の取組について意見交換	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナの影響でラジオ体操や夜回り駅伝 ( 「火の用心」 や 「戸締まりをしよう」 などの声掛け ) ができなくなっている。</li> <li>・ コロナ禍において、地域でもなかなか集まる機会がない状況であるが、すべて中止にすることは良くないと思っている。感染対策をしっかりと行い、地域の活動に参加することで、やりがいや満足感などを感じると思う。</li> <li>・ 性被害の低年齢化を一番心配している。性被害を防止するには、発達段階に応じた閲覧サイトの制限を行うことが重要であると考える。</li> <li>・ どの家庭の親も、子どものゲームの使用時間が増えていると言っている。</li> <li>・ 子どもたちが、外に出ないでゲームを長時間することで、目が悪くなったり、食べ過ぎて太るなど気になることが多くなっている。</li> <li>・ 学校の取組の中で「スマートルール」を作っているが、子どもたちに「なぜルールを守らなければならないのか」をしっかりと説明しないと意味がない。</li> <li>・ 学校においても行事の中止や縮小が続いている。</li> <li>・ 学校生活の中で期待することや楽しみは、他の仲間と活動することなので、そういった場面が少なくなっていることが残念である。</li> <li>・ 学校行事を楽しみにしている生徒もおり、勉強以外の活動の場で自己肯定感や達成感をあじわい成長していく子どもも少なくないため、学校としてやり方を工夫したり、安全確保しながらできないか検討している。</li> </ul>	

( 8 ) 福井市スポーツ推進審議会 ( スポーツ課 )

委員数	14 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 4 年 1 月 25 日	種 別	報告
内 容	件 名	・ 福井市スポーツ推進計画【改訂版】について	
	案件概要	・ 福井市スポーツ推進計画【改訂版】の成果指標の進捗報告等	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果指標の週 1 回以上運動やスポーツをする成人の割合を増やすために、高齢の方はリハビリや運動療法など、若い世代は心拍数をあげる行動をした場合などを含めるとよいのではないかと。</li> <li>・ 冬場の体育館は寒いと、利用者が減る。寒さ対策ができると、冬場もいろいろな方に参加していただける。</li> </ul>	

( 9 ) 福井市文化財保護委員会 ( 文化財保護課 )

委員数	10 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 3 年 11 月 12 日	種 別	審議
内 容	件 名	・市指定文化財 在田 2 号墳の指定解除について	
	案件概要	・市指定文化財 在田 2 号墳の墳丘の一部が崩落し、更に尾根斜面崩壊の危険により、土砂災害防止等を進める必要があるため、指定解除について審議。	
	主な意見	・土砂災害防止等の工事により、古墳を崩す必要がある場合は、墳丘や石室等の詳細な発掘調査等を行い、古墳の築造過程や遺物の出土状況等の記録保存を図ること。	

( 10 ) 福井市文化奨励賞選考委員会 ( 文化振興課 )

委員数	7 人	会議開催数	1 回
年月日	令和 3 年 9 月 29 日	種 別	選考
内 容	件 名	福井市文化奨励賞選考委員会	
	案件概要	文化・芸術等の分野において、優れた実績をあげた個人または団体で福井市文化奨励賞の対象となるものの選定のための審査	



(11) 福井市図書館協議会（図書館・みどり図書館・桜木図書館）

委員数	9人	会議開催数	2回
年月日	(1回目) 令和3年8月26日 (2回目) 令和4年3月書面開催	種別	協議・報告
内容	件名	<p>(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用状況及び行事報告等（上半期）について</li> <li>・市立図書館のリニューアル後の利活用に関するパブリック・コメント募集の結果について</li> <li>・市立図書館休館期間中のサービスについて</li> </ul> <p>(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用状況及び行事報告（下半期）について</li> <li>・新年度の予算及び行事予定について</li> <li>・市立図書館リニューアル事業について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止・延期した行事</li> </ul>	
	案件概要	<p>(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月25日から7月14日までの間に実施した「福井市立図書館のリニューアル後の利活用」に関するパブリック・コメント募集の結果</li> <li>・市立図書館のリニューアルに伴う休館中に実施予定の代替サービス等について</li> </ul> <p>(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度当初予算で予定している主な事業（みどり図書館第2駐車場の拡張、この本いいネ！プロジェクト）</li> <li>・市立図書館リニューアル事業の進捗状況及び休館中の代替窓口として開設する「田原町ミニ図書館」について</li> </ul>	
	主な意見	<p>(1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事について、小学校や保育園での読み聞かせ活動は、コロナ禍で、ボランティアによる活動は実施しづらい状況にある。そのような中で司書に活動してもらっていることは大変良いと思う。</li> <li>・市立図書館のリニューアル後の開館日、開館時間について、現在の内容にある程度満足しているので、延長や拡大をするよりも質を重視してほしい。</li> </ul> <p>(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館リニューアル事業について、図面からは、緑地面積が少ないと感じる。延床面積や駐車台数を増やすことと両立は難しいと思うが、緑地を増やすことを検討してほしい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中止した行事は、乳児・幼児向けの定例行事が多い。この時期が重要な発達段階であることを考えると、こうした機会がなくなる意味は大きいので、配信により実施する等、代替措置の検討を求める。</li> </ul>	

(12) 福井市自然史博物館運営協議会（自然史博物館）

委員数	10人	会議開催数	2回
年月日	令和3年8月6日	種別	審議
内容	件名	(1) 自然史博物館について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告 利用状況（休館）、企画展や自然史講座の開催状況、収蔵資料の状況、研究報告や博物館だより等の発刊、広報等の活動、決算状況の報告</li> <li>令和3年度事業経過報告 企画展、自然史講座等の開催状況及び今後の予定の報告</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>標本の名前を調べようなどは毎年かなり密になって大変な状態になっている。それを新しい方法でやっていただけるという報告を聞いてひと安心した。</li> </ul>	
	件名	(2) セーレンプラネット（分館）について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告 利用状況（休館）、特別展、企画展等展示業務、ドーム映像業務、自主事業等の実施状況、学習投映の実施状況、広報活動状況、収支決算状況の報告</li> <li>令和3年度事業経過報告 特別展、企画展の開催状況、ドーム映像業務の実施状況、イベント等の開催状況及び今後の予定の報告</li> </ul>	
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>	
	件名	(3) その他	
案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年福井市文化奨励賞候補者の推薦について依頼</li> <li>学芸員（植物担当）の退職と来年度の募集について報告</li> </ul>		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>		
年月日	令和4年2月10日	種別	審議
内容	件名	(1) 自然史博物館について	
	案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業経過報告 企画展等事業実施状況の報告</li> <li>令和4年度事業計画 特別展等開催予定、自然史講座等の開催予定の報告及び令和4年度予算の説明</li> </ul>	
	件名	(2) セーレンプラネット（分館）について	
案件概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業経過報告 特別展等開催状況、ドーム映像業務の実施状況、イベント等の開催状況の報告</li> <li>令和4年度事業計画 特別展等開催予定、ドーム映像業務の実施予定、イベント等の実施予定の報告</li> </ul>		
主な意見	<p>（書面による開催のため、全体の意見として）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、工夫して活動に取り組まれている。</li> <li>コロナ禍にもかかわらず、イベント参加者が定員に達している。魅力ある企画運営だと思う。</li> </ul>		

(13) 福井市美術館運営協議会（美術館）

委員数	8人	会議開催数	2回
年月日	令和3年10月15日 令和4年3月25日	種別	審議
内容	件名	・美術館の運営について	
	案件概要	事業報告について 令和3年度の外部点検結果に基づく対応について ホームページデザインについて	
	主な意見	コロナ禍であっても、企画展4つとその他のイベントも開催出来、今後も継続して運営して欲しい。 美術館に行けば楽しいことがある、学べるなど、どの世代が行っても、そこに行くだけで心が和むような活動を続けてもらいたい。 他の美術館等でも、お洒落で、見やすいホームページがあるので、それを参考に、福井市美術館のホームページも変えて欲しい。	

(14) 福井市立郷土歴史博物館運営協議会（郷土歴史博物館）

委員数	8人	会議開催数	2回
年月日	(1回目) 令和3年8月26日 (2回目) 令和4年3月書面開催	種別	諮問
内容	件名	郷土歴史博物館の運営について	
	案件概要	(1回目) ・令和2年度寄贈・寄託資料について諮問 ・令和3年度の事業について諮問 (2回目) ・令和3年度下半期の事業について諮問 ・令和4年度及び今後の事業予定について諮問	
	主な意見	・運営協議会に、博物館利用者像の分析と博物館側の運営へのビジョンの提示がほしい。 ・博物館のミッションを達成するために、学芸員の能力を発揮できる環境の整備に努めてほしい。 ・今年の夏休みは各博物館美術館の体験学習等への子どもたちの参加数が多かったことから、その対応を十分にしてほしい	

## 5 令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況

ここでは、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について実施した点検及び評価を掲載します。  
方針9及び10は市長部局が所管する取組ですが、教育振興基本計画の進捗管理も兼ねるため、参考として掲載しています。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	1 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進
	(1) 特色ある学校づくり
具体的な取組	(2) 家庭・地域・学校協議会の設置と活用
	(3) 教育ウィークの推進
	(4) 地域活動への子どもたちの積極的な参加の推進
	(5) 福井の学校のあり方についての検討

成果指標に関して  
(総)…第七次福井市総合計画成果指標  
(基)…教育振興基本計画成果指標

### 取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目 設定なし	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標 R3
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	
(1)	特色ある学 校づくり	学校 教育課	<p>子どもたちの未来を切り拓く力を養い、教育実践の質を高めていくために以下のような視点から、一覧表をもとに、これからの地域との取組を吟味・精選しました。</p> <p>地域と関わる取組一覧表を発信し、目指す子どもの姿を家庭や地域と共有しながら連携を深め、地域とともにある学校づくりを一層進めていく。</p> <p>地域と関わる取組一覧表を有効に活用しながら、教育の目的や目標の実現に向けた教育活動を教科等横断的な視点で組み立てていく。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(2)	家庭・地 域・学校協 議会の開催	学校 教育課	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、直接会議を開くことができないこともありました。しかし、地域の声を学校教育に取り入れる機会を確保するため、書面にてやりとりしたり、会の実施時期を例年とはずらして実施するなど、社会に開かれた教育課程の実現につとめました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(3)	教育ウイーク開催	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、全小中学校で共通して行う「教育ウイーク」は開催できませんでしたが、場所や人数を分けて公開したり、学校からのお便りやHP、動画等で発信する機会を増やしたりする等の工夫をして、教育活動を地域に公開しました。	(基)教育ウイークの開催学校数 基準値(H27):全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)	全小中学校(1週間)
(4)	地域活動への子どもたちの積極的な参加の推進	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、地域で行われる行事や学校で地域の方と一緒に行う活動をこれまでと同じような形で行うことが難しい状況でした。しかし、実施時期を変更したり、一度に参加する人数を調整したり、広い場所で行うようす等感染症対策を行った上で地域とのつながりが途切れないように取り組みました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(5)	福井の学校のあり方についての検討	学校教育課	令和2年5月に福井市学校規模適正化検討委員会からの答申を受け、適正化の対象となった地区の代表者を対象に、全地区で答申説明会を開催しました。また、各地区において保護者や地区住民を対象とした意見交換会を開催してまいります。今後も丁寧に保護者や地域の意見を聞いてまいります。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
					100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	2 学力充実のための教育活動
具体的な取組	(1) 福井市学力・学習状況調査研究委員会の設置
	(2) 積極的な授業公開と研究会の実施
	(3) 読書活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	全国学力・学習状況調査研究委員会の開催	学校教育課	今年度は5月末に全国学力・学習状況調査（国語・算数・数学・理科の3教科と質問紙）を実施しました。全ての教科で国の平均を上回る結果となりました。各教科の課題や質問紙についての分析結果を学習指導等の改善に活用してもらうよう、リーフレットにまとめ各学校に送付しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(2)	授業公開の実施	学校教育課	他校（園を含む）への授業公開や出前授業の実践では、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度に引き続き、実施が難しい状況でした。しかしながら、年2回の指導主事訪問は実施し、当日は中学校区内での授業公開を再開しました。	他校（園を含む）への授業公開や出前授業の実践（全小中学校1校当たり回数）	目標	5回	5回	6回	6回	6回	6回
					実績	5回	6回	5回	2回	3回	
					達成度	100%	120%	83%	33%	50%	
(2)	研究会の実施	学校教育課	各中学校区では、新型コロナウイルス感染症対策のため児童生徒の交流はほとんど実施できせんでしたが、教職員の研究会・研修会は、オンライン会議システム等を活用して、できる範囲で何ができるかを積極的に協議しました。	中学校区単位での研究会・研修会（全小中学校1校当たり回数）	目標	3回	3回	12回	12回	12回	12回
					実績	3回	12回	12回	15回	15回	
					達成度	100%	400%	100%	125%	125%	

(3)	学校司書の配置	学校教育課	全小中学校に学校司書を配置し、読書の環境づくりや児童生徒の読書推進に努め、学校図書館の一層の充実を図りました。また、学校司書を対象にした研修を定期的に行い、スキルアップを図りました。	(基)学校司書が配置されている学校数 基準値(H27): 全小中学校	目標	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
					実績	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
(3)	学校図書整備事業	学校教育課	文部科学省が定める「学校図書館図書標準」の蔵書冊数に達するよう、図書の整備を行いました。小、中学校ともに市全体としては、学校図書館図書標準が100%を達成しました。今後は、変動する学級数に応じて、継続的・計画的に整備を行い、基準冊数の維持に努めます。	小中学校の学校図書館図書標準	目標	小学校 100% 中学校 97.0%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
					実績	小学校 100% 中学校 93.4%	小学校 100% 中学校 98.7%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
					達成度	106.1%	101.7%	100%	100%	100%	100%

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	3 豊かな心の教育の推進
具体的な取組	(1) 道徳教育の推進
	(2) 人権教育の推進
	(3) 道徳的実践の場としての体験活動の充実
	(4) 芸術・文化体験の充実
	(5) 環境教育の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目 設定なし	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	道徳教育の推進	学校教育課	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>学校訪問では道徳の研究授業を行う学校が多くあり、適切な助言等で道徳授業に対する意識を高めることができました。各校種において、優れた授業実践が増えてきました。</p> <p>また、4つの小中学校が「親子で学ぶ道徳講座」を実施し、家庭も巻き込んだ道徳教育の充実を図ることができました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(2)	人権教育の推進	学校教育課	<p>いじめや差別のない学校にするために、各学校に対し年度初めに人権教育推進計画の作成を依頼し、正しい人権感覚を身に付け、思いやりの心を持つて行動できる児童生徒を育てる人権教育を計画的に取り組みむよう呼びかけることができました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-
(3)	道徳的実践の場としての体験活動の充実	学校教育課	<p>各学校で、人や自然とふれあいながら豊かな心を育てる場として、集団宿泊体験学習や田植え、稲刈り等の自然体験活動を実施しました。子どもたちが体験活動を通して、仲間や地域の方々と交流する場面が見られました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-	-



(4)	芸術・文化 体験の充実	学校 教育課	令和3年度も、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国際交流作品展は中止しました。 しかし、その代替として、WEB会議システムを使い、オンラインで安居中学校と中国浙江省の学校をつなぎ、国際交流を行いました。	(基)国際交流作品展 の開催日数 基準値(H27):7日間	目標	7日間	7日間	7日間	7日間	7日間
					実績	7日間	7日間	7日間	0日間	0日間
					達成度	100%	100%	100%	0%	0%
(5)	環境教育の 推進	学校 教育課	全幼小中学校で「ESD(持続可能な開発のための教育)」の視点を取り入れた「福井市環境学習プログラム」に取り組みました。各学校では、年度始めに作成した「実施計画」に基づいて、目標達成に向けて取組内容を見直しながら実践を進めました。訪問した学校では、授業、清掃、委員会等の様々な場面で子ども達の環境学習に取り組む姿が見られました。年度末には各学校が取組を「実施報告書」にまとめました。 来年度も引き続き、各学校において環境学習に取り組む、持続可能な社会の創り手として考え行動できる子ども達の育成につなげます。	(基)福井市環境学習 プログラムの取組学 校数 基準値(H27):全幼 小中学校	目標	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校
					実績	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	全幼小中学校	
					達成度	100%	100%	100%	100%	

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	4 幼児教育の推進
具体的な取組	(1) 小学校との連携の強化
	(2) 保護者への支援
	(3) わくわく交流デーの充実
	(4) 交流活動の推進
	(5) 認定こども園への移行の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標									
					目標	H29	H30	R1	R2		R3								
(1)	小学校との連携の強化	学校教育課	<p>継続推進計画による連携交流の3回のうちの1回を、校区の園小関係職員が集まっている小学校と、学校教育課をオンラインでつなぎ、コロナ禍の中であっても、園小の円滑な接続という目的のための取組について研修する機会を設け、目的を共有して取り組むことができました。</p>	(基)保幼小接続カリキュラムの実施校数 基準値(H27): 全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
(2)	保護者への支援	学校教育課	<p>園での子ども様子を、ミニお便りや玄関掲示等でタイムリーに伝えるように心がけ、子どもの成長を実感しお子さんを安心して園に預けていたことができた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、公民館と連携した子育て広場の開催はできませんでした。</p>	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(3)	わくわく交流デーの充実	学校教育課	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、市内一斉に行う新1年生の小学校1日体験「わくわく交流デー」は中止としました。しかし、新1年生の小学校への円滑な接続のための取組を各小学校区の園と小学校が協議し、全小学校区で新1年生を迎える取組を行うことができました。</p>	(基)わくわく交流デーの開催数 基準値(H27): 全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	大雪のため中止	大雪のため中止	大雪のため中止	大雪のため中止	大雪のため中止	大雪のため中止	大雪のため中止
					達成度	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

(4)	交流活動の 推進	学校教育課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため公立こども園と公立幼稚園が合同で行う「交流保育」は実施できまよせし交流保育」が、複数の公立幼稚園で行う「なかよし交流保育」については、時期の調整や感染症対策を行った上で実施することができまよした。交流当日の経験が、その後の各園での遊びにもつながることで、普段の遊びもより充実しました。 令和4年度は1園のみの開園となるので、公立こども園との交流を実施できるよう努めます。	(基)夏と秋の交流保育の開催数 基準値(H27):夏秋とも延べ3回	目標	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	夏秋とも延べ3回	年間を通して3回	夏秋とも延べ3回
					実績	夏秋とも延べ3回	年間を通して6回	年間を通して3回	年間を通して3回	
					達成度	100%	100%	33%	33%	
(5)	認定こども園への移行の推進	学校教育課	平成28年度から、同地区にある公立幼稚園と公立保育園を統合して認定こども園への移行を進めてきており、令和2年度は、美山啓明幼稚園とみやま保育園が統合してこども園となり、市内の公立認定こども園が8園となりました。 元公立幼稚園の職員が公立認定こども園に異動し、元保育園職員と協働して保育園と幼稚園の両方の機能をもつ認定こども園としてのよりよい教育・保育の実現に努めています。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	
					達成度	-	-	-	-	

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	5 特別支援教育の推進
具体的な取組	(1) 就学相談の充実
	(2) 個に応じた支援体制の充実
	(3) 一貫性のある支援体制の整備
	(4) 特別支援教育に関する研修の実施
	(5) 交流活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標			
					H29	H30	R1	R2	R3				
(1)	就学相談の 充実	学校 教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、就学相談会、既就学相談会は中止しました。全ての調査・相談は個別に対応しました。また、就学判断を協議する教育支援委員会を2グループに分け、計11回開催しました。次年度の就学相談のあり方を検討するため、判断部会（5月13日）、就学指導・啓発部会（11月4日）を開催しました。	(基)教育支援委員会 の開催数  基準値(H27)：年7回	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 年7回	実績 年7回	達成度 分散し、 年13回
(2)	いきいきサ ポーター配置 事業	学校 教育課	いきいきサポーターを85名配置し、通常学級で特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実を図りました。	(総)(基)いきいきサ ポーターの配置数  基準値(H27)：年69 人	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 年8回	実績 年8回	達成度 100%	目標 84人	実績 84人	達成度 84人
(3)	一貫性のあ る支援体制 の整備	学校 教育課	特別支援教育コーディネーターを、全小中学校に配置しました。特別支援教育コーディネーター会（年間3回開催のうち4月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、2回はオンライン開催）において、各園、各小中学校に資料を送付し移行支援について依頼したり、対面による会ではきませんでしたが、地域の園小中の特別支援教育コーディネーターがオンラインでの会議において、情報共有を図る場を設けました。また、特別支援教育専門委員会を開催し、特別支援教育コーディネーター会の今後の在り方について検討しました。	特別支援教育コー ディネーターの配置	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 106.4%	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 101.2%	目標 全小中学校	実績 全小中学校	達成度 101.2%

(4)	特別支援教育に関する研修の実施	学校教育課	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した会議もありましたが、各校に資料を配付し、特別支援教育コーディネーターの役割や外部機関との連携等について周知しました。また、オンラインによる会議において、教育と福祉の合同研修会を開催（10月、1月）し、福祉機関と学校とがそれぞれの役割を知る機会を設けました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(5)	交流活動の推進	学校教育課	特別支援学級と通常学級の児童生徒の交流及び共同学習は、特別支援学級を設置している67校全てで実施しています。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

教育支援委員会 障がい等のある児童生徒に対して、就学先の決定だけでなく、早期から一貫した支援について助言を行う機関（教育委員会に設置）

いさいさサポート 発達障がいなどの傾向があり、集団での活動が苦手な児童生徒に対して、学習支援や生活指導、学校生活に関わる諸問題の指導支援を行う非常勤職員  
特別支援教育コーディネーター 特別支援教育を進める上で、学校において、保護者や関係機関に対する窓口、保護者を含めた学校内外の関係者や福祉、医療、特別支援学校等の関係機関との連携・協力のための調整、校内委員会の推進などの役割を担う教員

福井市特別支援教育専門委員会 特別支援教育の充実を図るため、教育、医療、福祉、行政の各分野から委員を選出し、特別支援教育体制づくりを検討する組織

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	6 気になる児童生徒への支援の充実
	(1) いじめの未然防止の支援
具体的な取組	(2) スクールソーシャルワーカーの配置
	(3) 不登校児童生徒への支援
	(4) 学校不適応対策事業推進会議の開催

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	いじめの未然防止の支援	学校教育課	学校と教育委員会との間で報告・連絡・相談を確実に、気になる児童生徒に関する情報を共有し対応を協議するとともに、必要に応じて関係機関と連携した支援を行いました。また「福井市いじめ防止基本方針」を保護者や地域にも周知するため、学校HP等への掲載を呼びかけ、いじめの未然防止に向けた取組を行いました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(2)	スクールソーシャルワーカーの配置	学校教育課	学校からの申請に応じて、スクールソーシャルワーカーを派遣しました。学校だけでは対応が困難な事例等に対して、家庭環境等の調査をもとに関係機関との調整や連携を図りながら、本人や家族との生活環境の改善、支援を行ってきました。また、毎月1回定例会を開き、情報共有や各事例に対してお互いアドバイスを行いました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(3)	不登校児童生徒への支援	学校教育課	小学校カウンセラーについては、県のスクールカウンセラーの配置も加味して、各小学校の児童数に応じて派遣しました。福井市適応指導教室「チャレンジ教室」にも週1回以上派遣し、通室生の相談にあたりました。また、チャレンジ教室における保護者対象の親の会を年1回実施しました。	(基)スクールカウンセラーが配置されている学校数 (県のSCの配置で十分な小学校に重点的にカウンセラーを配置)	100%	100%	100%	100%	100%	全小中学校 全小中学校 100%

(4)	学校不 適応 対策 事業 推 進 会 議 の 開 催	学校 教育 課	学校不 適応 対策 推進 会議 を年3回オンライン での開催を含めて実施しました。会議では、福井 市適応指導教室「チャレンジ教室」の取組や、学 校不 適応 児童 生徒 の理 解や 対応 につ いて 議論 しま した。特に、今年度はICTを活用したライブ パートナー 活動について話し合いました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
						達成度	-	-	-	-

スクールソーシャルワーカー 子どもを取り巻く環境に働きかけて、子どもが自分だけでは解決できない様々な問題の解決の支援や関係機関との連携を図る、社会福祉士などの資格を有する者。

小学校カウンセラー スクールカウンセラーは、児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識を有する者が、学校のカウンセリング機能の充実に目指して、いじめや不登校など児童生徒の問題行動等の対応にあたる。そのうち本市は16人のカウンセラーを41小学校とチャレンジ教室に派遣し、小学校カウンセラーと呼んでいる。

チャレンジ教室 長期欠席をしている不登校の小中学生を対象に、福井市教育委員会が平成2年度から設置している施設。個に応じた活動を進めながら、児童生徒が学校に復帰できるように支援している。

学校不  
適応  
対策  
事業  
推  
進  
会  
議 適  
応  
指  
導  
教  
室 「  
チャ  
レン  
ジ  
教  
室  
」  
の  
活  
動  
全  
般  
に  
関  
する  
支  
援  
や、  
新  
た  
な  
学  
校  
不  
適  
応  
児  
童  
生  
徒  
を  
出  
さ  
な  
い  
よ  
う  
に  
す  
る  
た  
め  
の  
支  
援  
に  
つ  
い  
て  
協  
議  
す  
る  
組  
織。

ライブ  
パート  
ナー 福  
井  
市  
と  
福  
井  
大  
学  
の  
連  
携  
事  
業  
の  
一  
環  
で、  
教  
育  
相  
談  
の  
授  
業  
を  
受  
け  
て  
い  
る  
大  
学  
生  
が、  
保  
護  
者  
か  
ら  
の  
要  
請  
を  
受  
け  
て  
学  
校  
不  
適  
応  
児  
童  
生  
徒  
の  
学  
校  
や  
家  
庭  
等  
を  
訪  
問  
し、  
相  
談  
相  
手  
と  
し  
て  
接  
す  
る  
こ  
と  
で  
児  
童  
生  
徒  
の  
自  
立  
を  
側  
面  
的  
に  
支  
援  
す  
る。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	7 グローバル化に対応した英語教育の推進
具体的な取組	(1) A L Tによる授業の充実
	(2) 中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援
	(3) F C Aによる国際理解教育の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	英語活動推進事業	学校教育課	小学校専属A L T を市内全小学校の3～6年の全学級に派遣し、学級担任や教科担任を支援しました。 授業以外の時間（給食等）の交流については、新型コロナウイルス感染症防止のため、十分にはできませんでした。	(総) A L T の年間派遣回数（1学級当たり） 基準値(H27)：5・6年 24回、3・4年 9回	目標 24回	24回	5・6年 24回 3・4年 4回	5・6年 24回 3・4年 9回	5・6年 24回 3・4年 9回	R3
(2)	中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援	学校教育課	令和2年度から中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）を英語セミナーとして宿泊を伴わない活動としております。今年度も、1日開催として計画を進めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。	中学生英語合宿（英語サマーキャンプ）の支援回数 (R2年度より中学生英語セミナーの支援回数)	目標 2日	2日	2日	1日	1日	100%
(3)	F C Aによる国際理解教育の充実	学校教育課	平成29年度までは、おもてなし観光推進課国際室に所属するF C A が小学校を訪問することがありましたが、平成30年度からF C A 4名のうち2名が学校教育課所属の小学校専属A L Tとなり、F C Aとしての小学校訪問はなくなりました。学校教育課を通して、公立幼稚園にF C Aの訪問事業の案内を送付し、園からの訪問希望調査を集約し、おもてなし観光推進課国際室に送っていただきます。	F C Aの派遣回数 (1学級当たり)	目標 5回以上	-	-	-	-	0%
					実績 5回以上	-	-	-	-	-
					達成度 100%	100%	100%	0%	0%	0%
					目標 100%	100%	-	-	-	-
					実績 100%	-	-	-	-	-
					達成度 100%	100%	-	-	-	-

A L T Assistant Language Teacher の略。小中学校や高等学校で外国語を指導する日本人教師を支援するための外国人講師。

中学生英語合宿（英語サマーキャンプ） 市内の中学3年生が外国人英語講師と生活をともにすることにより、外国文化を理解し、視野を広め、英語に親しみながら友情を育てる体験活動。福井市中学英語研究会の主催により、少年自然の家で実施した。

F C A Fukui International Cultural Ambassador（福井市国際文化交流大使）の略。アメリカの姉妹友好都市出身で、小学3、4年生に対し、外国の文化に関する授業を行った。



方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	8 教育の情報化の推進
	(1) 無線LANを活用できるネットワーク環境の整備
	(2) グループウェアの活用
具体的な取組	(3) ICTを活用した授業の実施

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	無線LANを活用できるネットワーク環境の整備	学校教育課	1人1台の端末を用い、児童生徒が授業でインターネットを活用できるように、ネットワークの高速大容量化を進めるとともに、全普通教室に無線LANのアクセスポイントを整備しました。	普通教室における無線ネットワーク環境の整備	-	中学校全普通教室接続	-	小中学校全普通教室	小中学校全普通教室	-	R3
(2)	グループウェアの活用	学校教育課	ICTを活用した業務改善に向けて、諸帳簿を効率よく作成するシステムを教員が開発し、使用の研修会を分散して小学校教員対象に実施しました。 本市が導入している教育ネットワークとグループウェアは、業務になくはならないものになつていきます。今後、集合型の研修だけでなく、OJTをさらに進め、一層の効率化につなげていきます。	グループウェアを活用した事務効率化のための研修	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	全小中学校対象に1回	-	-
(3)	ICTを活用した授業の実施	学校教育課	本年度から実施の新学習指導要領に盛り込まれた小学校プログラミングの授業は、教育委員会の配布したカリキュラムをもとに、全ての小学5年生に授業を行います。その中で、全小中学校がタブレットを活用した授業を公開しました。また、すべての中学校において、学校公開期間にICTを活用した授業を公開しました。	(基)ICT機器を活用した授業の実施学校数 基準値(H27): 全小中学校	100%	100%	100%	68%	100%	100%	全小中学校 全小中学校 100%

グループウェア 組織内のコンピュータネットワークを活用した、情報共有のためのソフトウェア。  
OJT On the Job Trainingの略。職場の上司や先輩が、部下や後輩に対して、実際の仕事を通じて指導し、知識、技術などを身に付けさせる教育方法のこと。

方針	1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	9 教員の資質向上の推進
	(1) 教員研修の充実
具体的な取組	(2) 福井大学教職大学院との連携

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	教職員課題別研修の受講	学校教育課	教職員力量向上研修の中の学校教育課主催の研修として、校務別研修・目的別研修を夏季休業中を中心に28の講座を企画・運営しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3講座をオンライン、1講座を動画視聴の形式で行いました。校長・教頭、教務主任対象の校務別研修は集合型で実施しました。 今後、更なる充実に努めます。	(基)教職員課題別研修(R2年度より教職員力量向上研修)の受講率(研修受講者/全教職員) 基準値(H27): 100%	目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%	
(2)	福井大学教職大学院との連携	学校教育課	福井大学連合教職大学院へ派遣する教員に対して、入学時及び在学中に要する経費を補助することとで教員の進学を促し、教職大学院との連携を深めていきます。 この取り組みにより令和3年度は2年履修コースに1名、1年履修コースに5名の派遣が決定しました。	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
					実績 -	-	-	-	-	-	-
					達成度 -	-	-	-	-	-	-

教職員力量向上研修 本市の教職員一人ひとりが自己の資質・能力の向上のために自主的に計画し参加する研修市教委主催のみならず、県教委や研究所の研修等も含む。市教委主催の研修としては、「目的別研修」「校務別研修」等、教職員員の力量向上に必要な研修を設定する。

方針	1	学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす
施策の方向性	10	キャリア教育の推進
		(1) 地域の特色を生かしたキャリア教育 (2) 地域や企業と学校が連携した取組

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	地域の特色を生かしたキャリア教育	学校教育課	福井市キャリア教育連絡協議会を開催し、キャリア教育プログラムについての見直しやコロナ禍での実施のガイドライン等について協議しました。また、キャリア教育コーディネーターが、依頼のあった中学校のキャリア教育の指導計画の立案を支援しました。 既存のプログラムに加え、学校現場の意見や要望を取り入れたプログラムを新たに構築するなど、取組を更に充実させていきます。	(総) 福井市キャリア教育プログラムの活用学級(小2、小5、中1)の割合 基準値(H27)：策定中	目標 50%	70%	100%	100%	100%	100%
(2)	地域や企業と学校が連携した取組	学校教育課	福井市キャリア教育連絡協議会を開催し、市内経済団体やキャリア教育コーディネーターと連携してキャリア教育を推進しました。「福井市キャリア教育プログラム実施判断基準」を作成し、学校や企業等はこの基準にしたがって感染症対策を行い、プログラムを実施しました。今年度の福井市キャリア教育プログラムの中には、オンラインを活用したプログラムもあり、話だけでなく活動もうまく取り入れながら実施しました。	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-
					実績 58.2%	84.0%	98.8%	79.5%	108%	108%
					達成度 117.6%	120%	98.8%	79.5%	108%	108%

福井市キャリア教育プログラム 学校の教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくりの技術を結び付けた教育プログラムで、企業の社員等を地域の教育支援者と学校に招き、教員と一緒に授業を行う。

福井市キャリア教育連絡協議会 市内経済団体(福井商工会議所青年部、福井青年会議所、ふくいの担い手づくりプロジェクト)、認定資格を有するキャリア教育コーディネーター、小中学校長、しごと支援課、女性活躍促進課と教育委員会が連携し、児童生徒のキャリア教育を支援するための組織

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	1	ふるさと教育の推進
具体的な取組	(1)	副読本「ふるさと福井の人々」の活用
	(2)	郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進
	(3)	福井の魅力を感じて活動の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	副読本「ふるさと福井の人々」の活用	学校教育課	毎年、全小学5年生に配付しており、小学5・6年生では社会科を中心とした授業や調べ学習、読書等で活用しています。歴史上の人物が多く掲載されているため、5年生よりも6年生で活用する割合が高くなっています。今後、子どもたちが福井の偉人の生き方を学ぶことを通じて、ふるさと福井への誇りをもてるように、活用を推進していきます。	(基)副読本「ふるさと福井の人々」の活用率 基準値(H27): 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
(2)	郷土の偉人への理解と生徒自らの将来を考える教育の推進	学校教育課	毎年、中学2年生が立志式を行い、橋本左内の生き方や功績に理解を深め、各自将来の決意や目標を明らかにしていきます。今年度は、保護者が別の部屋で映像を通して参観できるようにするなど、コロナウイルス感染症対策を行い工夫して実施しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
(3)	福井の魅力を感じて活動の推進	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のため、中止された地域行事も多く、参加する機会が大幅に減少しました。しかし、小中学校の校外学習等では、感染症対策を行いつながりながら総合的な学習の時間と関連づけながら、福井の良さを実感できるような学習を行うことができました。	設定なし	-	-	-	-	-	-

方針	2	ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る
施策の方向性	2	福井の魅力を学び、発信できる環境づくり
	(1)	郷土学習事業の推進
	(2)	世代間交流事業の推進
	(3)	社会教育団体の育成
具体的な取組	(4)	学習情報の提供

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	「福井学」 学習センター事業	生涯 学習課	中央公民館において基礎講座と歴史講座、文学講座を開催。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講者数が減少したが、YouTube配信などの工夫を凝らし、目標の参加者数を達成することができました。 福井の歴史、生活文化、まちづくり等、幅広いテーマで講座を実施することができました。 今後も、事業を通して地域を見つめなおす機会を創出し、郷土の魅力を発信できる人材育成に取り組めます。	(総)福井学講座参加者数 基準値(H27): 454人	目標 480人	実績 490人	510人	540人	600人	
					実績 484人	503人	512人	438人	634人	
					達成度 100.8%	102.7%	100.4%	81.1%	105.7%	
				(基)郷土学習参加者数 基準値(H27): 9,400人	目標 10,000人	10,000人	10,050人	設定なし	10,400人	
					実績 9,785人	10,035人	10,093人	3,863人	3,514人	
					達成度 97.9%	100.4%	100.4%	-	33.8%	
(2)	伝統文化継承事業	生涯 学習課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人気がある郷土料理づくりなどの事業が行いにくい状況でしたが、各館で工夫しながら実施することができました。 今後も感染症対策を行いながら事業を実施していきます。	伝統文化継承事業 事業数 (~H29「はつらつ伝承塾」促進事業実施数(公民館及び地区団体))	目標 24事業	実績 24事業	19事業	20事業	設定なし	
					実績 24事業	18事業	19事業	20事業	20事業	
					達成度 100%	128.6%	100%	100%	-	

(2)	人材活用派遣事業	生涯学習課	新型コロナウイルスの影響を受け、派遣を見送るケースは多かったものの、派遣回数は前年度より増加しました。 また、講師の高齢化等により派遣数の増加が見込まれない状況となっています。今後の持続的な発展を見据え、平成31年4月に策定した「ふくい県北連携中枢都市圏ビジョン」(以下、「ビジョン」という。)では、社会教育講師派遣事業の登録者数を増やすことを新たな目標として定めおり、具体的な取組として、圏域内での広域的な講師の派遣や受け入れの調整を行いました。その結果、ビジョンにおける成果指標である社会教育講師派遣事業の登録者数について、令和5年度の目標(130人)を前倒しで達成しました。	(基)高齢者人材活用派遣回数 基準値(H27):82回	目標	83回	設定なし	87回
					実績	81回	69回	62回
					達成度	97.6%	83.1%	71.3%
(3)	社会教育団体の育成	生涯学習課	地区公民館を中心に自治会、PTA、体育振興会、壮年会、婦人会、社会福祉、地域づくりなど、多様な社会教育活動、住民活動を支援していき、今後も継続的に実施していきます。	設定なし	目標	-	-	-
					実績	-	-	-
					達成度	-	-	-
(4)	学習情報の提供	生涯学習課	公民館に関する各種情報をより多くの地域住民に周知するため、各公民館において公民館だよりを発行するほか、ホームページやSNS等の広報媒体を積極的に活用していきます。	設定なし	目標	-	-	-
					実績	-	-	-
					達成度	-	-	-

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	1	学校給食の充実と食育の推進
	(1)	食育の推進
	(2)	地場産食材の活用
具体的な取組	(3)	給食施設・設備の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	食育の推進	保健 給食課	各学校ごとに、1年間の「食」に関する指導の全体計画」を作成し、関連教科や総合の時間等で食育に取り組みました。栄養教諭・学校栄養職員は、その計画に沿い、児童生徒に対し「食の指導」を令和3年度は、合計で803回行いました。内容としては、「朝食」、「食事のマナー」、「栄養素の働き」など年代に応じた指導を行っています。また、給食だよりやFacebookにて食育や学校給食の情報発信し、家庭への周知も行いました。	(基)食育学習会や体験活動等を実施している学校の割合 基準値(H27)：100%	目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
(2)	地場産食材の活用	保健 給食課	納入業者や市園芸センターなど関係機関と調整をし、地場産食材を計画的に取り入れられました。また、福井の地場産食材や郷土料理を多く取り入れた「ふるさと給食」や「朝食ゆめまるランチ」及び「福いネ！給食」を実施するなど、子どもたちが喜ぶ楽しい給食づくりを行いました。	(基)市内産農産物の使用品目数の維持 基準値(H27)：20品目以上	目標 20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上	20品目以上
(3)	給食施設・設備の整備	保健 給食課	給食施設の老朽化や学校衛生管理基準、食物アレルギーへの対応に向け、新学校給食センターの整備事業を進めています。令和3年度は、新学校給食センターの整備運営を行う事業者を募集・選定し、事業契約の締結を行いました。また、単独調理校については、学校の大規模改修等に合わせ、ドライシステムへの改修に取り組みでいきます。現在は、ドライ運用で学校給食の衛生管理の徹底に努めています。	(基)給食施設のドライ化数(累計) 基準値(H27)：4施設	目標 5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	8施設
					実績 4施設	100%	100%	100%	100%	100%	62.5%
					達成度 80%	100%	100%	100%	100%	100%	

方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	2	自らが行動できる安全教育の推進
具体的な取組	(1)	安全教育の推進
	(2)	児童生徒や教職員の防災・防犯訓練の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	安全教育の 推進	保健 給食課	各学校において「学校安全年間計画」を策定し、それに基づいて、安全教育や避難訓練を実施しました。 各学校では、児童生徒が安全確保のための適切な行動を自分で考え判断できるよう、授業中だけでなく、休み時間や登下校時など、大人が近くにいない場面での災害を想定した訓練等、工夫し取り組みました。また、災害発生時にとるべき行動について確認や話し合いを行いました。	評価項目 設定なし	目標 -	-	-	-	-	-
(2)	児童生徒や 教職員の防 災・防犯訓 練の充実	保健 給食課	児童生徒や教職員が、突発的な場面において迅速かつ的確に対応できるよう、全小中学校で防災や防犯の訓練を実施しています。 令和3年度においても、全小中学校で避難訓練を実施し、沿岸部の学校では、津波被害を想定した訓練も行いました。また、防災アドバイザーや消防署、警察、気象庁等の関係機関と連携を図り、より実践的な訓練になるよう努めました。	(総)(基)小中学校における避難訓練の実施率 基準値(H27)：100%	目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%
					実績 100%	100%	100%	100%	100%	100%
					達成度 100%	100%	100%	100%	100%	100%



方針	3	食育の推進や学校保健の充実を図り、心身ともに健康な子どもを育成する
施策の方向性	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
具体的な取組	(1)	健康教育の充実
	(2)	学校、家庭、関係機関などの連携強化

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	健康教育の充実	保健 給食課	定期健康診断及び就学時健康診断の結果を分析し、課題改善につなげるため、日々の保健指導や学校保健委員会 の開催を通して、児童生徒の生活習慣や健康に対する意識の改革に努めました。目と歯の健康に関しては、養護教諭と学級担任等が協力し、ビジョントレーニングを実施したり、小学1、2年生を対象にリーフレットを用いた指導を行いました。	(基)学校保健委員会 の開催  基準値(H27)：全小 中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
(2)	学校、家庭、関係機関などの連携強化	保健 給食課	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、学校、家庭、学校三師（学校医、学校歯科医、学校薬剤師）、保健所等の関係機関と連携を図りました。保健所や学校三師、福井市学校保健会等と連携しながら本市独自の「学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、感染予防に努めました。また、家庭における日々の健康観察やマスクの適切な着用、手洗い、換気等基本的な感染症対策についても、学校を通じて保護者に依頼しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-
					100%	100%	100%	100%	100%	96%
					目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

学校保健委員会 学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織。校長、養護教諭、栄養教諭などの教職員や学校医、学校歯科医、保護者代表、地域の保健関係機関の代表などの委員から構成されている。

方針	3	心身ともに健やかに育つ学校保健の充実
施策の方向性	4	生き生きと運動に取り組み学校体育の充実
具体的な取組		(1) 児童生徒の体力維持向上
		(2) 体育指導の充実
		(3) 運動部活動の充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	児童生徒の体力維持向上	保健 給食課	<p>全小中学校が「児童生徒体力づくり推進計画書」を作成し、教育活動全般を通して、運動に取り組みました。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施学年や種目を限定するなど、可能な範囲内での取組を依頼しました。令和2年度における本市の実態や傾向、課題などを参考資料として示し、それらと比較したり、各学校の過去の記録とも照らし合わせたりしながら、強化が必要な種目について、対策を講じるよう指導しました。</p>	(基) 体育の授業を除いた休み時間等で年間を通して運動に取り組んでいる小学校の割合 基準値(H27)：46%	目標 62%	66%	68%	68%	80%	68.8%	
(2)	体育指導の充実	保健 給食課	<p>指導主事学校訪問の機会を利用し、文部科学省の方針や考えについて、伝達と指導を行いました。また、コロナ禍における体育授業の進め方等についても、資料を配付して全小中学校に周知しました。</p> <p>児童生徒に対しては、アスリートやスポーツクラブの専門指導員による体育授業を行いました。また、実際に児童生徒への指導を見ることが、教員が専門的な指導法を学ぶこともできました。</p>	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
(3)	運動部活動の充実	保健 給食課	<p>地域の指導者を令和3年度は、17校で44名活用しました。専門的な技術指導を行い、様々な部が地区大会ならびに県大会で入賞することができました。</p> <p>また、トップアスリートによる実技講習会として陸上教室も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむをえず中止しました。</p>	(基) 学校からの希望に対する運動部活動地域連携推進事業指導者の委嘱率 基準値(H27)：92%	目標 100%	100%	100%	100%	100%	100%	

方針	4	自然科学への興味を高め、子どもの夢を育てる
施策の方向性	1	自然科学教育の推進
	(1) 展示の充実	
	(2) 自然史博物館再整備の検討	
	(3) 自然科学分野のキャリア教育と学習講座の充実	
具体的な取組	(4) 宇宙や天体に関する興味・関心の向上	

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	達成度	
(1)	展示の充実	自然史博物館	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>自然史博物館は、コロナ対策として自然史講座を基本事前予約とし、定員数も減らしながら実施しました。前半は感染者も多く、入館者は少なめででしたが、夏休みには人気のあるカブトムシ、クワガタムシを題材とした企画展を実施したところ、県境をまたいだ外出ができませんでした。県内の方が多く来館されました。セーレンプラネットでも、県内を中心に広報を行いました。また、eスポーツ大会や、乳幼児連れが気兼ねなく利用できるベビーブランチルームなど、新しい取り組みにより、客層の拡大を図りました。両施設とも、感染対策を行いながら、イベントや講座を実施するほか、学校、公民館等への出前講座も実施し、自然科学教育の普及に努めます。</p>	<p>(基)自然史博物館企画 画展入場者数</p> <p>基準値(H27) : 14,750人</p> <p>(総)(基)自然史博物館とセーレンプラネットの年間総入場者数</p> <p>基準値(H27) : 19,325人(自然史博物館のみ)</p> <p>(基)自然史講座等参加者数</p> <p>基準値(H27) : 4,511人</p>	<p>目標</p> <p>21,000人</p> <p>実績</p> <p>25,281人</p> <p>達成度</p> <p>120.4%</p> <p>目標</p> <p>153,000人</p> <p>実績</p> <p>115,617人</p> <p>達成度</p> <p>75.6%</p> <p>目標</p> <p>5,000人</p> <p>実績</p> <p>3,239人</p> <p>達成度</p> <p>64.8%</p> <p>目標</p> <p>-</p> <p>実績</p> <p>-</p> <p>達成度</p> <p>-</p>	<p>27,000人</p> <p>27,421人</p> <p>101.6%</p> <p>153,000人</p> <p>133,097人</p> <p>87.0%</p> <p>5,000人</p> <p>3,688人</p> <p>73.8%</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>27,000人</p> <p>22,050人</p> <p>81.7%</p> <p>154,000人</p> <p>114,611人</p> <p>74.4%</p> <p>5,000人</p> <p>3,333人</p> <p>66.7%</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p> <p>設定なし</p>	<p>22,000人</p> <p>22,397人</p> <p>101.8%</p> <p>130,000人</p> <p>91,179人</p> <p>70.1%</p> <p>5,000人</p> <p>1,688人</p> <p>33.8%</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>		
(2)	自然史博物館再整備の検討	自然史博物館	<p>財政健全化計画により延期</p>	<p>設定なし</p>	<p>目標</p> <p>-</p> <p>実績</p> <p>-</p> <p>達成度</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>		

(3)	自然科学分野のキャリア教育と学習講座の実	自然史博物館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数	目標	100人	110人	125人	設定なし	-
					実績	108人	120人	19人	中止	中止
(4)	宇宙や天体に関する興味・関心の向上	学校教育課	セーレンプラネットが実施している幼小中学校向けの博物館学習では、学校に合わせた学習プログラムとなるよう助言し、プログラムの活用を各学校に周知しました。今後も子どもたちの宇宙や天体に関する興味・関心を高めるための学習に取り組んでいきます。	設定なし	達成度	108.0%	109.1%	15.2%	-	-
					目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	5	安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む
施策の方向性	1	安全で快適な学校施設の整備
具体的な取組		(1) 学校施設の老朽化対策
		(2) 安全性の確保・向上
		(3) 快適な環境づくり

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	小学校大規模改修事業/ 学校体育館大規模改修事業/学校生活環境整備事業	教育総務課	令和4年度の光陽中学校の校庭改修を見据え、詳細設計を行いました。 また、森田地区を中心とした市北部地域の学校規模適正化を図るための基本計画を策定し、当該地域における学校施設の大規模改修等の方向性を整理しました。	(基)校舎や体育館の大規模改修及びプールや校庭の改修を今後新たに実施する学校数 基準値(H27): 0校	目標	3校	5校	6校	8校	11校	
					実績	3校	3校	4校	7校	7校	
					達成度	100%	60%	66.7%	75%	63.6%	
(2)	窓ガラス飛散防止対策事業	教育総務課	大規模な地震等における避難者の安全対策を講じることを目的とし、平成28年度から進めてきた小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策は、令和3年度に残りの8校を実施し、全51校において完了しました。	(総)(基)小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策の実施率 基準値(H27): 17%	目標	43.1%	56.9%	74.5%	84.3%	100%	
					実績	43.1%	56.9%	74.5%	84.3%	100%	
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	
(3)	音楽室エアコン設置	教育総務課	平成29年度にて事業完了	(基)小中学校全ての音楽室へのエアコン設置率 基準値(H27): 47%	目標	小学校37校	-	-	-	100%	
					実績	小学校37校	-	-	-	-	
					達成度	100%	-	-	-	-	
(3)	トイレ洋式化改修工事	教育総務課	令和2年度中に全小中学校の大便器の洋式化率50%を達成したため、令和3年度は、学校規模や児童生徒数等を考慮し、慢性的な洋式トイレ不足が顕著となっている大規模校を中心に洋式化を進めました。 また、拠点避難所となっている学校体育館のトイレ洋式化について、全ての学校が男女別それぞれ50%以上となるよう改善を図りました。	(基)学校トイレの洋式化率 基準値(H27): 37%	目標	40.7%	44.7%	46.5%	50.0%	50%	
					実績	41.8%	45.4%	47.9%	52.0%	60.9%	
					達成度	102.7%	101.6%	103.0%	104.0%	121.8%	

方針	5	安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む
施策の方向性	2	安全・安心な通学路の環境整備
具体的な取組	(1)	通学路交通安全プログラムに基づく取組
	(2)	通学路照明灯の設置

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	通学路交通安全プログラムに基づく取組	保健 給食課	令和元年7月に既存のプログラムを通学路安全プログラムと改定し、「交通安全」に加え、「防犯」、「防災」の観点を追加しました。 このプログラムに基づき、学校等が把握した通学路危険箇所について、道路関係者や警察などと関係機関による通学路安全推進会議を開催し、情報共有、合同点検、安全対策の検討を行い、令和3年度は、58箇所を改善しました。内容としては、路側帯等の道路標示の塗り直しや信号機の時間調整、落石防護柵の適正な維持管理などでした。	設定なし	目標 -	実績 -	達成度 -	目標 -	実績 -	達成度 -	R3 -
(2)	通学路照明灯の設置	保健 給食課	中学校通学路の安全確保のため、令和3年度は、4件の要望に基づき、4箇所の通学路照明灯の設置を行いました。	(総)設置基準を 満たす要望に占める 照明灯設置基数の割 合 基準値(H27)：88%	目標 100%	実績 100%	達成度 100%	目標 100%	実績 100%	達成度 100%	100%

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	1	地域で進める青少年の健全育成
具体的な取組	(1)	地域との連携
	(2)	青少年の非行防止と被害防止対策
	(3)	姉妹友好都市との交流
	(4)	放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標	
					目標	H29	H30	R1	R2		
(1)	地域との連携	青少年課	見守り活動や危険箇所点検、大人と子どもとの交流会など、青少年育成福井市民会議の48支部が実施している活動を支援しました。 また、子どもたちへの声かけ事業が発生しやすいため、子どもたちで作業しながら地域で子どもたちの安全を守る「夕方見守り運動」を推進し、見守り活動の強化を図りました。	(基)地域の大人と子どもとの交流活動の実施地区(支部)数 基準値(H27): 48支部	目標	48支部	48支部	48支部	48支部	48支部	R3 48支部
(2)	青少年の非行防止と被害防止対策	青少年課	職員及び補導員で、「愛のひと声」を中心とした街頭補導活動を実施しました。 また、市教育委員会と福井警察署及び福井南警察署で交わった不審者情報に関する連携協定に基づき、協議を開催しました。今後、顔のみえる関係を構築し、迅速かつ適切に情報共有を図ります。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-
(3)	姉妹友好都市との交流	青少年課	福井市と熊本市及び結城市の子どもたちが、互いの都市の歴史や文化を学びあい、両市の友好関係を深めています。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、熊本市とオンラインによる交流会を実施しました。（結城市との交流会は中止）	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-
					実績	48支部	48支部	48支部	48支部	48支部	48支部
					達成度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
					目標	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-	-
					目標	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-	-

(4)	放課後の子どもが安全に過ごせる居場所の確保	学校教育課	<p>今年度も、要件を満たす放課後留守家庭の児童のうち、児童クラブの利用を希望する児童をすべて受け入れました。</p> <p>今後も、児童クラブの利用希望者は増加し、現行の定員のままでは受入が困難となる地区もあることが予想されるため、学校の余剰教室等を利用して児童クラブの整備を進めます。</p> <p>併せて、市有施設の老朽化対策と効率的な運営を行うため、施設マネジメントの視点からの施設整備も必要なことから、各地区の状況を踏まえた整備方針の検討を進めます。</p> <p>なお、民間事業者による児童クラブの新規設置等に対する助成制度を創設し、森田地区と鷹巣地区で施設整備が実施されました。</p> <p>また、児童クラブ職員の人材確保が課題となっている中、発達障がいやその傾向がある児童の対応で職員の負担が増加している現状があるため、専門知識をもつ学童保育巡回アドバイザーを1名増員し2名配置して各クラブに巡回し、必要なアドバイス等の支援を行います。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響により、予定していた研修や大学との連携事業が実施できませんでしたが、来年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、課題解消に向けた事業を継続して進めます。</p>	(基)児童クラブの設置数(計画当初68か所)	目標	77か所	77か所	77か所	77か所	77か所	77か所	実績	82か所	82か所	82か所	82か所	78か所	74か所	96.1%	101.3%	106.5%	106.5%	106.5%	達成度
-----	-----------------------	-------	--	------------------------	----	------	------	------	------	------	------	----	------	------	------	------	------	------	-------	--------	--------	--------	--------	-----



方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	2	家庭で進める青少年の健全育成
具体的な取組		(1) 家族のふれあいの推進
		(2) 規範意識の啓発

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標		
					H29	H30	R1	R2	R3			
(1)	家族のふれあいの推進	青少年課	家族のふれあいをテーマとした「絵手紙コンクール」を実施し、優秀作品の展示を通してコミュニケーションの大切さを呼びかけています。令和3年度は4,916点の応募があり、優秀作品展示を5会場（ハピリン、パリオ、福井市美術館、ベル、県ふるさと文学館）で実施しました。	(基)「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示会の開催数 基準値(H27): 3回	目標 3回	実績 3回	100%	4回	4回	5回	R3	
(2)	規範意識の啓発	青少年課	ネット被害やいじめ、ネット依存等の危険性が危惧されていることから、学校等に対し、「情報モラル講習会」の開催を呼びかけました。インターネット利用に関する指導は、家庭が果たす役割も大きいことから、保護者を対象とした講習会の開催に努め、インターネット適正利用にかかる啓発活動を一層推進します。	小中学生等の情報モラル講習会の開催	目標 100%	実績 100%	100%	100%	100%	100%	全小中学校	全小中学校
					目標 100%	実績 100%	100%	100%	100%	100%	全小中学校	全小中学校

方針	6	家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る
施策の方向性	3	自然を生かした体験学習
具体的な取組	(1)	少年自然の家の利用促進
	(2)	少年自然の家の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	少年自然の家の利用促進	青少年課	令和3年度より、指定管理者制度を導入し、利用者へのサービス向上を図っています。 新型コロナウイルスの影響により、市内の各種団体等が活動を自粛したことから、利用者数は目標に届かなかったものの、令和2年度と比較すると大きく増加しました。 引き続き、感染防止策を徹底し、より多くの市民が安心して利用できる施設運営がなされるよう指導してまいります。	(総)少年自然の家利用者数(年間) 基準値(H27): 11,129人	目標 10,500人	実績 11,300人	113.6%	11,400人	11,400人	11,300人	47.8%
(2)	少年自然の家の整備	青少年課	耐震工事については、平成29年度までにすべての施設で完了しました。 令和3年度は、トイレ洋式化工事及びレクリエーションホール照明器具取替(LED)修繕を行いました。 施設が老朽化していることから、今後、比較的大規模な修繕や故障の発生が危惧されますが、整備の時期を逸することなく、適切に対応してまいります。	設定なし	目標 -	実績 -	-	-	-	-	-

方針	7 公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	1 公民館を活用した多様な学習機会の提供 (1) 公民館事業の充実 (2) 公民館運営審議会の充実 (3) 家庭教育事業の推進 (4) 青年教育事業の推進 (5) 地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実 (6) 人材育成及び指導体制の充実 (7) 公民館によるコーディネートとしての地域活動支援 (8) 学校、家庭、地域の連携強化
具体的な取組	

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	公民館事業の充実	生涯学習課	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>公民館では地域の特色を活かし、多様な学習ニーズや地域課題の解決を重視した各種教育事業、自主グループ支援を実施するとともに、地域のコーディネートとして、人と人、人と地域を結びため、連絡調整を中心に多様な地域活動の支援に努めています。</p> <p>教育事業全般について、前期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、長期間、事業の実施ができませんでした。後期は感染症対策を行いました。また、Zoomを活用したオンライン教育事業を行いました。Zoomも活用しながら、教育事業の実施を進めています。</p> <p>次年度も感染症対策を行いながら事業を実施していきます。</p>	(基)公民館利用者数 基準値(H27): 917,000人	920,000人	920,000人	920,000人	設定なし	設定なし	920,000人
				(基)公民館学級・講座及び自主グループ数 基準値(H27): 1,470グループ	1,480グループ	1,490グループ	1,491グループ	1,300グループ	1,273グループ	1,470グループ
					達成度	100.5%	100.1%	-	-	84.3%
(2)	公民館運営審議会の充実	生涯学習課	<p>すべての公民館に公民館運営審議会を設置するとともに、柔軟な委員構成に努め、公民館運営に市民の多様な意見を反映させました。</p>	設定なし	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

(3)	家庭教育事業の推進	生涯学習課	親子の成長や学びを支えるため、親などを対象とした「家庭教育事業」を実施しています。新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、計画どおり事業の実施ができな公民館もあり、事業内容や開催方法を工夫し、実施しました。今後、成長や学びを支える学習機会の提供に努めます。	(基)親学講座開催実施数 基準値(H27):36回	目標	38回	設定なし	設定なし	設定なし	40回
					実績	34回	12回	11回	8回	6回
					達成度	89.5%	-	-	-	15%
(4)	青年教育事業	生涯学習課	青年教育事業を通し、地域活動への参加意欲を高めるとともに、新たな担い手の育成に努め、地域コミュニティの活性化を図っています。しかし、新型コロナウィルス感染症の影響により、参加者数は前年より減少しています。今後も継続して地域と青年が関わる場を作り、地域の新たな担い手の発掘・育成に努めます。	青年教育事業参加者数 (~H30 青年グループ数)	目標	38グループ	38グループ	4,700人	5,000人	設定なし
					実績	37グループ	34グループ	4,856人	3,687人	3,300人
	青年交流事業	青年交流事業の開催	福井市連合青年団の組織体制の充実を図り、青年や青年グループ等を対象として青年交流事業の開催を支援しています。コロナ禍により、計画していた事業を実施することができませんでした。今後、連合青年団の組織と活動の幅をさらに広げるため、引き続き支援を行います。	青年交流事業の開催	目標	2回	3回	3回	3回	設定なし
(5)	地域の課題解決や現代的課題に向けた学習の充実	生涯学習課	公民館等を通して、少子高齢化、男女共同参画、多文化共生、情報化、環境問題、防災・防犯、地域づくりなど、現代社会や地域が抱える課題についての学習を実施しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(6)	人材育成及び指導体制の充実	生涯学習課	公民館職員の資質向上や社会教育団体関係者の人材育成を進めるために各種研修事業を実施しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

(7)	公民館によるコーナーと活動支援	生涯学習課	地域コミュニティの機能保持・活性化を図るため、地域のコーナーターとして地域活動の支援及び連絡調整を積極的に担い、地域コミュニティの中核的な活動拠点として、人と人、人と地域を結び機能の充実に努めました。しかしながら新型コロナウイルスの影響により、各種団体の活動自体が縮小しており、コロナ前に比べ大きく利用者は減少しています。	(基)公民館各種団体 活動利用者数 基準値(H27): 272,000人	目標	273,500人	設定なし	設定なし	設定なし	277,000人
					実績	252,999人	285,736人	113,168人	111,533人	
					達成度	91.3%	-	-	40.2%	
(8)	学校、家庭、地域の連携強化	生涯学習課	P T A と連携し、学社連携事業をはじめとした地域の教育力を高めるための取り組みを支援しています。公民館事業を通じて、地域における家庭・学校・地域の連携強化を図りました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	2	だれもが利用しやすい生涯学習施設の充実
具体的な取組	(1)	公民館の整備
	(2)	公民館施設等の維持管理

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	公民館の整備	生涯学習課	<p>施設の老朽化や狭あい度合、地区の人口形態、他施設との併設状況などの点を総合的に勘案しながら実施しました。</p> <p>今後も継続的かつ計画的な整備を行っていきます。</p>	(基)公民館施設整備方針の達成度 基準値(H27): 75%	目標 86%	実績 76.6%	86%	86%	86%	86%
(2)	公民館施設等の維持管理	生涯学習課	<p>高齢者、障がい者、子育て中の家族などが利用しやすい施設としてバリアフリー化を進めるとともに、老朽化や緊急度を勘案しながら、施設や設備の補修・改修を行い、機能の充実に努めました。</p> <p>今後も、継続して施設の維持管理に努めます。</p>	設定なし	目標 -	実績 -	-	-	-	-
					達成度 89.1%	達成度 91.4%	達成度 92.6%	達成度 95.1%	達成度 95.1%	達成度 95.1%

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	3	市民憲章運動の推進
具体的な取組	(1)	市民憲章運動の推進
	(2)	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)					基本計画 達成目標
					目録	H29	H30	R1	R2	
(1)	市民憲章運動の推進	生涯学習課	市民主体のまちづくりが推進されるよう、市民の精神的指標である「不死鳥のねがい(福井市市民憲章)」について、その運動を推進しました。今後も、市民一人ひとりがその趣旨を理解し、実践することができるよう、5つの項目、5つの実践目標の周知に努めていきます。	(基)福井市を美しくする運動参加者数 基準値(H27): 53,500人	目標	60,500人	61,000人	61,500人	設定なし	56,000人
					実績	60,833人	61,016人	38,452人	中止	12,411人
					達成度	100.6%	100%	62.5%	-	22.2%
(2)	不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会の活動への支援	生涯学習課	市内49地区に支部を設置し、公民館活動や地域活動との連携を図るなかで、地域における運動が定着するよう支援しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	4	市民ニーズに対応した図書館サービスの提供
	(1)	多様化するニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実
	(2)	郷土資料等の収集と情報発信の強化
具体的な取組	(3)	レファレンスサービスの充実

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	多様化するニーズに対応した資料の収集、整理、保存の充実	図書館	市民の様々なニーズに対応して、市立図書館は郷土資料や貴重書を活用した行事、みどり図書館は子育て世代を対象とした企画、桜木図書館はまちなか施設やアオッサ内各施設と連携したイベントなど、各館の特色を生かした事業を実施しました。	(総)(基)図書館利用者数 基準値(H27): 740,000人	目標	747,345人	747,345人	742,220人	742,960人	743,700人	
(2)	郷土資料等の収集と情報発信の強化	図書館	郷土資料の積極的な収集に努め、1,700冊余りを蔵書として登録しました。 また、冊子形態の資料だけでなくマップやリーフレットなどの地域資料も収集し、利用に供しました。 特設コーナーや行事案内のほか、児童向けおすすめ図書のリストをSNSで発信しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	
(3)	レファレンスサービスの充実	図書館	レファレンスカウンターや電話・メール等での市民の要望に応じて、専門的知識を持つ司書が適切な資料の紹介や提供を行いました。 また、時節に応じた図書を集めた「特設コーナー」を設置し、課題解決に役立つ資料、情報を提供しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	
					実績	710,808人	721,627人	731,189人	498,401人	598,737人	
					達成度	95.1%	96.6%	98.5%	67.1%	80.5%	



方針	7	公民館や図書館の充実を図り、市民の生涯学習を支援する
施策の方向性	5	効果的・効率的な図書館運営と施設整備
	(1)	利用時間と運営体制の整備
	(2)	図書館施設の整備
具体的な取組	(3)	読書に親しめる環境の整備

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標	
					目標	H29	H30	R1	R2	R3		
(1)	利用時間と運営体制の整備	図書館	令和3年4月1日から、美山図書館、清水図書館の休館日と開館時間を変更し、統一性を図り、利用者の利便性を向上させました。 また、利用者アンケートを実施し、意見や提案を踏まえて、利用者ニーズに応じたサービスとなるよう改善を図りました。	(基)図書館を利用する市民の満足度 基準値(H27)：86.5%	目標	87.0%	88.0%	89.0%	89.2%	89.2%	89.2%	
(2)	図書館施設の整備	図書館	市立図書館リニューアル事業は、令和4年度からの改修工事に向けて、リニューアル後の図書館の利活用に関するパブリック・コメントを実施し、市民の意見やニーズを把握しました。また、設計業務を計画どおり完了しました。 そのほか、桜木図書館の照明設備のLED化や移動図書館車へのバリアフリー対応車両の導入を実施し、利用環境の改善を図りました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-
(3)	読書に親しめる環境の整備	図書館	コロナ禍において、家庭での読書を楽しんでもらうため、貸出冊数の上限を増やす取組を例年より期間を延長し実施しました。 また、各館の特色を生かした事業や行事は、感染予防ガイドラインに沿った感染防止対策を行い、できる限り開催に努めました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-	-	-
					達成度	100.9%	101.0%	100.1%	99.3%	99.3%	100%	100%

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	1	安全・安心で気軽に楽しめるスポーツ施設の充実
具体的な取組	(1)	体育施設の整備
	(2)	国体関連施設の整備
	(3)	学校体育館開放事業

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）						基本計画 達成目標
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	体育施設の 整備	スポー ツ課	新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設の休館や利用制限が行われ、また利用自粛に伴うキャンセルが相次ぎ、利用実績が前年同様頭打ちとなりました。市体育館メインアリーナのLED照明化工事を行いました。施設マネジメントアクションプランの中で、利用者数が少なく、維持管理コストが過度に高いことなどから「機能廃止」となった施設について、地権者へ丁寧に説明を行うことで概ね理解を得られました。	(基)市スポーツ課が 所管する体育施設の 利用者数（延べ 人数）  基準値(H27)： 1,258,203人	目標 1,260,000 人	1,260,000 人	1,260,000 人	1,260,000 人	700,000人	1,300,000 人	
					実績 1,249,725 人	1,179,140 人	1,069,559 人	664,000人		633,382人	
					達成度 99.2%	93.6%	84.9%	94.8%		48.7%	
(2)	国体関連施 設の整備	スポー ツ課	平成30年度にて事業終了	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
					実績 -	-	-	-	-	-	
					達成度 -	-	-	-	-	-	
(3)	学校体育館 開放事業	教育 総務課	スポーツ振興の促進を図るため、小学校及び中学校の体育館・校庭の開放を行いました。 また、利用手続の簡素化により市民の負担軽減を図るため、学校体育施設開放の利用内容の見直しを行いました。	設定なし	目標 -	-	-	-	-	-	
					実績 -	-	-	-	-	-	
					達成度 -	-	-	-	-	-	

方針	8	ライフステージに応じた市民の生涯スポーツを支援する
施策の方向性	2	福井国体開催を契機とするスポーツ活動への参加促進
		(1) 生涯スポーツの推進
		(2) 体育協会の育成と事業の充実
		(3) スポーツ推進委員協議会の育成
		(4) 市民のスポーツへの関心の向上
		(5) 障がい者スポーツの普及・推進
具体的な取組		(6) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンペーン誘致の推進

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）				基本計画 達成目標
					H29	H30	R1	R2	
(1)	生涯スポーツの推進	スポーツ課	<p>新型コロナウイルス感染症のため、春・秋の体操教室は回数制限を行いながら実施しました。一方、ファミリーマラソン大会、ニュースポーツ大会及び市民レクリエーション大会は中止となりました。体操教室は回数が減少した分を、新たに冬の教室を設けることで機会を確保し、また、自宅でも気軽に取組める健康体操の動画をYouTubeで配信しました。</p> <p>そのほか、スポーツ少年団活動に対しては「次世代を担う健全なからだところを持つた青少年の育成」の実現に向けて、指導者の育成や活動の充実を図れるよう引き続き支援を行いました。</p>	<p>(基) 週1回以上運動やスポーツをする成人の割合（「県民意識調査」福井市抽出分）</p> <p>基準値(H27)： 40.90%</p>	目標 48.0%	50% 18歳以上 （市民意識 調査）	設定なし	設定なし	65%
(2)	スポーツ協会の育成と事業の充実	スポーツ課	<p>福井市スポーツ協会の健全な運営と同協会に加盟する各団体が実施する各事業に対して支援を行い、生涯スポーツの推進を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民スポーツ大会は中止となりましたが、各種スポーツ大会は、開催可能な競技団体において、感染状況を踏まえながら実施しました。</p>	設定なし	目標 -	-	-	-	-
				実績	46.5%	54.7% 18歳以上 （市民意識 調査）	未調査	未調査	50.3%
				達成度	96.9%	109.4%	-	-	77.4%
				目標	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-
				達成度	-	-	-	-	-

(3)	スポーツ推進委員協議会の育成	スポーツ課	福井市スポーツ推進委員相互の連絡を密にし、ライフステージに応じて楽しみながら運動やスポーツに参加できる機会が増えるよう、福井市スポーツ推進委員協議会を支援しました。 感染症の影響により、地域での推進活動が満足できなかったことから、次年度に向けて委員研修会を重点に行いました。 また、スポーツ推進委員の活動を認知してもらえよう、活動状況や委員紹介等をHPに掲載して、広く情報発信しました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(4)	市民のスポーツへの関心の向上	スポーツ課	新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等が中止となったため、PR活動が満足にできなかった。 これからは、各種イベント等におけるPR活動を通して、スポーツに対する関心を維持し、さらに高めていけるよう努めていきます。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(5)	障がい者スポーツの普及・推進	スポーツ課	障がい者スポーツの普及拡大に向け、関係団体と連携したスポーツ機会の提供やだれもが安心してスポーツができるよう体育施設の整備を進めるなど、障がいのある人がスポーツに参加しやすい環境づくりに取り組みます。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-
(6)	東京オリンピック・パラリンピック・パブリックキャンペーン事前キャンペーン誘致の推進	スポーツ課	令和3年度に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスロベニアチームの事前キャンペーンを誘致し、市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ推進を図るとともに、世界に向けて福井市の情報発信を行いました。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	1	文化芸術活動の支援
具体的な取組	(1)	文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出
	(2)	市民の美術創作活動への意欲向上

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標 R3
					H29	H30	R1	R2	達成度	
(1)	文化芸術活動への支援と市民が文化芸術に触れる機会の創出	文化振興課	市民文化祭については、令和3年度も茶会や体験コーナーなどを中止し、客席の間隔を十分確保したうえで芸能大会を実施するなど新型コロナウイルス対策を徹底して開催しました。 また、市民が誰でも参加できる文化芸術活動の発表と鑑賞の場をオンライン上に設ける「ふくいバーチャル文化芸術祭」を開催し、コロナ禍の中、文化芸術活動の活性化を図りました。 次年度も、「市民文化祭」や「ふくいバーチャル文化芸術祭」を開催し、より多くの市民が文化芸術活動に参加できる機会を創出します。	(基)市民文化祭参加者数 基準値(H27)：7,058人	目標 7,100人	7,150人	7,200人	7,250人	7,300人	7,300人
					実績 6,356人	5,558人	5,216人	2,706人	2,697人	2,697人
					達成度 89.5%	77.7%	72.4%	37.3%	36.9%	36.9%
(2)	市民の美術創作活動への意欲向上	美術館	第34回市美展ふくいは、新型コロナウイルスの対策を行いながら開催し、令和元年に開催した第32回展より出品点数が増えました。 次年度以降も、感染対策を行いながら、市美展ふくいを開催します。	(基)市美展ふくい出品点数 基準値(H27)：519点	目標 500点	510点	520点	530点	540点	540点
					実績 489点	467点	436点	中止	458点	458点
					達成度 97.8%	91.6%	83.8%	-	84.8%	84.8%

方針	9	市民の文化芸術活動を支援し、優れた文化芸術に触れる機会をつくる
施策の方向性	2	文化芸術の振興
		(1) 文化芸術活動の担い手の育成
		(2) 文化会館の管理運営と再整備の検討
		(3) 美術館の展示内容の充実と魅力向上
具体的な取組		(4) 美術創作体験ができる機会の提供

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標(上段)と実績(下段)						基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	R3	
(1)	文化芸術活動の担い手の育成	文化振興課	<p>事業の主な取組内容と成果・課題</p> <p>NPO法人福井芸術・文化フォーラムが企画・実施する事業を支援することにより、本市の文化振興を図っています。</p> <p>引き続き良質な文化芸術事業を企画・実施し、より多くの市民が、身近に文化芸術に触れる機会を創出する必要があります。</p>	<p>(基)福井芸術・文化フォーラム開催事業参加者数</p> <p>基準値(H27): 3,063人</p>	目標	3,100人	3,150人	3,200人	3,250人	3,300人	
					実績	2,798人	2,533人	1,757人	1,598人	1,840人	
					達成度	90.3%	80.4%	54.9%	49.2%	55.8%	
(2)	旧文化会館の解体と新文化会館の整備	文化振興課	<p>旧文化会館については、令和3年3月に閉館したため、今後は解体に向けた準備を進めていきます。</p> <p>新文化会館の整備については、建設予定地の東公園にアリーナ整備構想が浮上したため、その進捗を確認しつつ、加えて、その時点での本市を取り巻く社会情勢や財政状況を勘案し、総合的に判断していく必要があります。</p>	<p>設定なし</p>	目標	-	-	-	-	-	
					実績	-	-	-	-	-	
					達成度	-	-	-	-	-	
(3)	美術館の展示内容の充実と魅力向上	美術館	<p>新型コロナウイルスの対策を行いながら、4つの企画展を開催し、目標の入場者数を超えることが出来た。</p> <p>次年度以降も感染対策を行いながら企画展を開催していきます。</p>	<p>(基)美術館企画展入場者数</p> <p>基準値(H27): 19,388人</p>	目標	63,000人	64,000人	65,000人	66,000	67,000人	
					実績	22,410人	46,314人	81,659人	47,447人	77,958人	
					達成度	35.6%	72.4%	125.6%	71.9%	116.3%	

(4)	美術創作体験ができる機会の提供	美術館	新型コロナウイルスの対策を行いながら、予定通りにアートリエ事業を開催し、目標の参加者数を超えることができました。 次年度も、参加人数の制限と感染症対策を行いながら開催します。	(基)美術館アトリエ参加者数 基準値(H27)：5,127人	目標	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
					実績	10,082人	14,902人	33,044人	10,153人	13,185人	
					達成度	100.8%	149.0%	330.4%	101.5%	131.8%	

方針	10	郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する
施策の方向性	1	福井が誇る歴史・文化資源の活用推進
	(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用
	(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用
	(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用
	(4)	構想記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の活用
具体的な取組	(5)	歴史・文化資源の情報発信

取組状況

施策番号	具体的な取組又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標 R3
					目標	H29	H30	R1	R2	
(1)	一乗谷朝倉氏遺跡の管理・運営と活用	文化振興課	無料Wi-Fiエリアを遺跡中心部全域まで拡大するとともに、遺跡案内板等の更新を行いました。また、復原町並武家屋敷屋根改修や、見学施設の手洗水栓自動化など環境を整備しました。今後は、当時の建物や人物をAR・VR等を活用して再現するアプリを制作するなど、遺跡の魅力を高め、公開活用を進めます。	(基)一乗谷朝倉氏遺跡復原町並入場者数 基準値(H27): 147,692人	目標 140,000人	140,000人	140,000人	140,000人	140,000人	150,000人
(2)	養浩館庭園の管理・運営と活用	文化振興課	庭園を適切に保存するため、こけら葺き屋根葺き替え工事を行いました。また、工事見学会やライトアップなど様々なイベントを行いました。また、新型コロナウイルスの影響により来園者数は、減少しました。また、散策等において、養浩館庭園の特色を活かしたイベントを開催し、幅広い世代の誘客につなげていきます。	(基)養浩館庭園入園者数 基準値(H27): 75,500人	目標 73,500人	73,750人	74,000人	74,750人	74,750人	75,500人
(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	福井市内市外問わず寄贈・寄託の申し出のあった資料について、資料審査委員会を経て受け入れを行いました。また、貴重な文化遺産を未来へ伝えるため、資料の修繕や古文書の資料化を実施し、館蔵品資料の充実を図りました。	(基)郷土歴史博物館収集資料数 基準値(H27): 40,555点	目標 40,700点	41,000点	41,200点	41,200点	設定なし	41,000点
					実績 40,984点	41,048点	41,208点	41,208点	41,349点	41,407点
					達成度 100.7%	100.1%	100%	100%	-	101.0%



(3)	郷土歴史博物館の資料保存と活用	郷土歴史博物館	博物館の施設の維持管理とともに、新型コロナウイルス感染症流行に伴う対策を実施し、来館者が安全で快適に鑑賞できるよう対策を行い、郷土の歴史を知り学ぶ場を提供することに努めました。	(基)郷土歴史博物館 総入館者数 基準値(H27): 78,021人	目標	79,500人	79,600人	85,000人	設定なし	80,000人
					実績	72,227人	84,810人	61,160人	34,531人	37,785人
					達成度	90.9%	106.5%	72.0%	-	47.2%
(4)	橘曙覧記念文学館や愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の活用	文化振興課	3館の入場者数は、新型コロナウイルスの影響により、減少したままですが、グリフィス記念館では、日下部・グリフィス基金等と連携したクリスマスイベントの開催によって、12月の入場者は過去最多となりました。 今後は、3館が連携した展示やイベントを開催して、入館者の増加を目指します。	(基)愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館来館者の延べ人数 基準値(H27): 29,313人	目標	37,000人	37,250人	37,500人	38,250人	39,000人
					実績	34,961人	31,984人	26,869人	15,406人	18,569人
					達成度	94.5%	85.9%	71.7%	40.30%	47.6%
(5)	歴史・文化資源の情報発信	文化振興課	福井・勝山日本遺産活用推進協議会を通じて、日本遺産の講演会やシンポジウムを、オンライン方式を併用し開催し、多くの方に参加いただきました。 また、文化施設の入館者数の回復のため、ふくい南北連携中核都市の市町と連携し、「石」をテーマにした文化資源の巡回パネル展を開催しました。 北陸新幹線福井開業に向けて、連携市町とともに、文化資源の掘り起こしと魅力発信を促進します。	設定なし	目標	-	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-	-
					達成度	-	-	-	-	-

方針	10	郷土の歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用する
施策の方向性	2	文化財の保護と活用
	(1)	文化財の保護と整備
	(2)	文化財の保存と継承
具体的な取組	(3)	文化財の公開・活用

取組状況

施策 番号	具体的な取組 又は事業名	所管課	事業の主な取組内容と成果・課題	成果指標 評価項目	目標（上段）と実績（下段）					基本計画 達成目標																											
					目標	H29	H30	R1	R2																												
(1)	文化財の保護と整備	文化財保護課	大安寺（国指定重要文化財）が実施する建造物修理事業は、本堂・山門の解体が行われ、また、指定史跡等の文化財を保護するため、整備事業を実施しました。	設定なし	-	-	-	-	-	-	-																										
(2)	文化財の保存と継承	文化財保護課	無形民俗文化財各種行事は、4団体が新型コロナウイルス感染症対策により開催を中止しました。無形民俗文化財が未来に保存・継承されるよう、保存団体と連携を図りながら、支援してまいります。	(基)無形民俗文化財各種行事の開催件数 基準値(H27)：7件	7件	7件	8件	-	-	7件	7件																										
(3)	文化財の公開・活用	文化財保護課	文化財保護センター及びおさごえ民家園において、「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に沿って展示会・体験学習会を実施しました。また、おさごえ民家園では、新型コロナウイルス感染症対策を行い、開園をしましたが、入園者数は目標に達することができませんでした。今後、園の活性化を図り、古民家の利活用を促進していくとともに、事業内容や活動方法を工夫しながら、文化財に親しむ機会の創出に努めてまいります。	(基)体験学習会参加者数 基準値(H27)：1,181人 (基)おさごえ民家園入園者数 基準値(H27)：8,359人	100%	114.3%	100%	2,250人	-	100%	114.3%	100%	2,250人	-	100%	1,950人	2,174人	137.9%	10,000人	6,000人	10,000人	7,856人	79.7%	78.6%	95.0%	1,600人	1,732人	108.3%	111.5%	137.9%	3,103人	1,553人	2,498人	124.9%	6,000人	5,071人	84.5%

## 6 学識経験者の知見

令和3年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての所見

福井大学名誉教授 寺岡 英男

令和元年度と2年度の2回の所見では、重ねて述べた点も多いので、令和3年度の所見では、令和2年度の対応状況をもとに、報告書の関連内容を具体例としてあげながら、改めて平成3年度の所見を述べるという方法を取らせていただきたい。

### 1. 事務の管理及び執行状況の評価と施策について

毎年度指摘している「今後政策・施策の発展に資する評価の在り方をいっそう探究することが求められる」という検討課題については、「各部門の果たすべき役割・目的に即して、どのように中期的な施策が展開され、その中で本取組がどのように進められたのか、その展開を評価する」という「点検・評価報告書」の枠組み・構成の見直しまで進まなければ基本的には解決されないのではないかと、述べてきている。これに関しては、対応状況として、「中期的（例えば『福井市教育振興基本計画』の計画期間である5年間）な施策が、各分野の役割や目的にそって展開されているかを評価できるよう、点検・評価報告書の改善に努めていきます。」と述べられている。

しかし、それについて「点検・評価報告書」での記載を読んでも、その改善状況については良くわからないように思われる。そこで、各種審議会等審議状況と事務の管理及び執行状況に分けて、具体的に例示し、所見を述べたい。

< 各種審議会等審議状況 >

#### (2) 教育支援委員会

内容は、令和2年度と同じものになっている。それは同年度と同じような取組がなされ、目立った違いは見られなかったことに因るものなのか。ただその場合でも、年間11回も開催されているので、意見等もう少し詳しい紹介が欲しいと思われる。

#### (6) 少年愛護センター運営委員会

令和2年度には、教員の働き方改革への対応として、教員への委嘱の代わりに、会計年度職員の任用となった。令和3年度では、任用によってどのように変わり、評価されるのかについて、年度をまたがる言及がなされてもよいのではないかとと思われる。

#### (7) 青少年問題協議会、(11) 図書館協議会

これらの協議会の取組は、案件や意見等が具体的に書かれており、わかりやすいものとして評価できる。

## <事務の管理及び執行状況>

### 1 - 1

取組状況は、令和2年度と同じである。なぜこのような記載となっているのか、説明が欲しい。これは例えば以下に述べるように、他の施策の取組状況の記載にも少なからず見られる。

### 1 - 3 (3)(5)

前年度まで取組状況の内容と同様であるが、「道徳的実践の場としての体験活動の充実」として、集団宿泊体験学習はともかく、「田植え、稲刈り等の体験活動」が謳われている。なぜとりわけそれらの体験活動が「道徳的実践の場としての体験活動」として特に取り扱われるのか、その意味がわかりにくい。

ESD教育については、今日の課題としては極めて大きな意味があると思われる。しかし、記載内容は前年と同様にとどまっている。そのためこの取組についての施策上の位置づけと取組状況がわからない。

### 1 - 6

これも基本的に前年と同様の記載である。課題の重要性からして、もちろん実際の取組みはあると思われるが、仮にこれらに関わって問題が起こった場合には社会的に及ぼす反響も大きくなるのは避けがたく、そのため丁寧な取組状況の記載が必要ではないかと思われる。

### 1 - 7

たとえば(1)の英語活動推進事業について、取組内容と成果指標については、専らALTに限定されている。これは総合計画や教育振興基本計画での内容に規定されているためと思われる。しかし、英語活動推進事業を考える場合、ALTばかりでなく、むしろ基本的には日本人教員の英語能力、授業力の向上や、ALTとの連携の工夫というものが課題としてあるように思われる。ここでは記載されていないこれら後者の扱いは、この施策の取組の点検・評価の中ではどのように扱われる余地があるのか説明を求めたいと思う。

### 3 - 1 - (3)

給食施設・設備の整備で、令和2年度には新学校給食センターの整備事業として、実施方針・要求水準書の作成を行ったとあった。令和3年度には整備運営事業者の募集・選定と事業契約の締結を行ったとあり、年度にまたがる取組事業の進展がわかる。できれば募集への応募状況など触れられてもいいのではないかと思われる。

### 6 - 1

上記1-7でも指摘したように、掲げられている基本的な施策とそこで挙げられている極めて限定的な取組の取り上げ方については、例えばこの6-1地域との連携と見守り活動や危険箇所点検という捉え方にも当てはまる。もちろん、見守り活動や危険箇所点検等については重要で地道な活動であるが、こと地域との連携というそれ自体重要な施策のなかでは、こうした取り上げられた活動には限定されない課題があるはずである。

その他

取組に関わる人材育成について、例えば7 - 1 - (6) 公民館での人材育成が項目として挙げられている。また、1-9 教員の資質向上の推進では、教育委員会主催の教職員力量向上の各種研修事業や福井大学連合教職員大学への派遣研修が意欲的に取組まれている。この人材育成・キャリアアップの課題は、教員ばかりでなく、この公民館職員をはじめ、同じ7の図書館はもちろん、総合計画や教育振興基本計画に沿って市民のための取組を担う職員全体に関わる課題であると思われる。各種研修の企画・実施や他の機関への研修派遣を明確に意識的に位置付けてほしいと思われる。

## 2. 教育課程編成に係る取組についての今後配慮すべき評価の枠組みについて

この事項に関しては、所見への対応状況として、「令和4年度からの第3期福井市教育振興計画」において学校教育をさらに充実させ、児童生徒の生きる力を伸ばす取組について成果目標を設けることを検討します。」と述べられている。ぜひ計画作成に当たって検討していただきたいと思う。ただし、成果目標を設けるといものが、成果指標を設定し、目標と実績をふまえて達成目標を数値化するというやり方にならないよう、検討願いたい。

## 3. コロナ禍での対応について

これについて、前回の所見では、以下のように述べさせていただいた。「コロナ禍での学校教育や社会教育等における対応については、それが全く予期しない事態の出現ではあったが、それだけに、改めて教育の在り方の根本を捉え直す機会となった。...(中略)これまで当たり前とされてきた学校での生活・学習やそれに対応する教職員の関わり方等が、根本から問い直される状況に追い込まれる事態となった、と言える。そこでは、単に状況が落ち着けば日常に戻る、遅れを取り返すという受け身の後ろ向きの発想ではなく、何が必要なかという見直しと再構成・改善を探るとい Constructive(建設的)で前向きな発想が求められていると思われる。このような重要な課題に直面し、それにどのような発想で対応すべきか。本報告書もその姿勢が問われることになる。具体的には、点検・評価の枠組みの見直しが必要だろう。」と。

この所見については、その対応として、たとえば学校教育については、「コロナ禍においても、各学校において、できる活動を工夫しながら教育活動を実践しています。特に学校行事においては、単に縮減するのではなく、そのねらいや目的を明確にすることで、練習時間を削減したり、効率よく取り組んだりするなどの見直し、再構築が行われています。またオンラインを活用した研修や子ども支援などの施策も進めています。」と述べられている。

しかしこの対応に示されたものは、どちらかという取組の改善であり、枠組みの見直し、再構築とは言えない。「令和4年度からの第3期福井市教育振興計画」の策定・実施ということもあり、ぜひこの辺り、実際コロナ禍での教育の営みの遂行の中で、何こそが 필요한のか、要らないのか、現実に直面した各学校の苦勞と意見も集約・分析を行い、それを踏まえた検討をお願いしたい。

## 令和3年度福井市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての 所見

福井市 PTA 連合会 会長 福田 智司

各方針・取り組みについて所見をお伝えいたします。

### 方針1 学校教育の充実を図り、子どもの生きる力を伸ばす

#### 1. 未来につなぐ特色ある学校づくりの推進

新型コロナウイルス感染症対策により取り組みが制限される中、できる限り実施されていることは評価できる。ただし、全体的に見るとそのように評価できると思うが、PTAでの情報によると学校による差が大きく出る部分でもあると感じている。

学校規模適正化については各地で説明会が進んでいることは評価できるが、具体的に進める必要がある地区は複数で同時進行しないと実状とズレが生じる。直近の森田地区の手遅れ感を考えると心配になる。どの地区をいつまでに学校規模を適正化させていくかを具体的にしていく中で、進捗を評価できるようになることを期待する。PTAも一緒に取り組んでいきたい課題である。

#### 2. 学力充実のための教育活動

全国学力調査については大変評価できる。教育現場でしっかり取り組んでいただいていることをうれしく思う。これを高校教育へとつなげていくことが次の課題であると考える。

学校図書については、PTAとの協力で蔵書冊数を維持していく必要がある。また、冊数だけでは評価せずに、ジャンルや新書の充実にも気を配りたい。

#### 3. 豊かな心の教育の推進

最近の世の中は批判すること、論破することを躊躇しない風潮がある。児童生徒の成長において、道徳心を養うことが不可欠である。道徳についての評価は難しいが是非取り組みを重要な位置づけで継続してほしい。

#### 5. 特別支援教育の推進

いきいきサポーターが充実してきている状況は評価できる。児童生徒の人数に対して充足できているかどうかを確認したい。

通常学級と特別支援学級の交流は評価する。これからも推進していただきたい。

## 6．気になる児童生徒への支援の充実

いじめ問題は大きな課題である。3の道徳教育とスクールソーシャルワーカーの派遣の両輪で児童生徒のストレスや悩みを良い方向へ導いていただきたいと思う。スクールカウンセラーも含めて体制が整いつつあるようで、感謝する。

不登校児童生徒も増加していると聞いている。PTAも協力できることを取り組んでいきたい。

## 8．教育の情報化の推進

ハード面は整備されてきたので、今後はどのように活用していくのが課題である。教員もしっかり活用できるスキルを身に付けてほしい。また、そのような機会を確保できるよう期待する。授業での活用もあるが、とりあえずやっていますというレベルでは寂しい。6の不登校児童生徒へも有効に活用してほしい。

## 10．キャリア教育の推進

福井市キャリア教育連絡協議会の開催、キャリア教育コーディネーターの充実により、幅広くキャリア教育に取り組んでいることは評価できる。さらなる高いレベルでの推進を期待する。また、学校やPTAで継続実施していく思いがないと途絶えてしまう心配があるので、仕組みと人を整えつつ継続をお願いしたい。

## 方針2 ふるさと福井への誇りや愛着が持てる環境の充実を図る

### 2．福井の魅力を学び、発信できる環境づくり

郷土の偉人や歴史上の人物について学ぶとともに、今の福井も含めて児童生徒が発信できるような機会を作してほしい。

## 方針3 心身ともに健やかに育つ学校保健の充実

### 4．生き生きと運動に取り組む学校体育の充実

運動部活動の充実で、地域の指導者が増えてきていることは評価できる。トップアスリートによる実技講習会もこれから多くの種目で開催できるよう期待する。これからは部活動の地域移行の課題にもスピード感をもって推進していただくとともに、検討にあたっては目線を生徒に合わせていただきたい。

## 方針 5 安全で快適に学び、安心して過ごせる学校環境の整備に取り組む

### 1. 安全で快適な学校施設の整備

校舎やトイレの改修は順次進んでいるようで感謝する。これからも毎年のように改修はあると思うが、学校規模適正化にも関係してくるので適切に推進していただきたい。

### 2. 安全・安心な通学路の環境整備

交通安全以外に防犯、防災の観点で、通学路の危険個所を調査、改善したことは大いに評価する。児童生徒の安全確保には優先的に対応していただきたい。

## 方針 6 家庭や地域、関係機関・団体が連携し、青少年の健全な育成を図る

### 2. 家庭で進める青少年の健全育成

PTA でも積極的に取り組むべき課題である。情報モラルについては、PTA 連合会でも各単位 PTA にも案内しており、講習会をお願いしている。これからも継続していただきたい。

## 総括

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた 2 年目であった。その中で、さまざまな方法を模索する中での学校運営だったと思う。難しい判断が続き、大変なご苦労があったと推察し、感謝する。

「できること」が学校により差が出ることは残念に思うこともあった。それは、当たりはずれのように見えることもあり、慎重すぎるのではないかと思うことも多くあった。

福井市 PTA 連合会においても反省することがあり、今後は何事においても開催する方向で検討していきたい。

今後、学校教育での ICT 活用がポイントになってくる。環境整備と教員のレベルアップが求められると思うが、さまざまな方策と工夫を期待する。